



# 国際高麗学会日本支部 第22回 学術大会

2018年 6月 10日(日)  
大阪教育大学 天王寺キャンパス  
資料代 1,000円

【午前の部】 10:00~11:15 中央館

自由論題① 中央館 2 | 2

司会：総谷智雄 氏

自由論題② 中央館 2 | 3

司会：鄭栄鎮 氏

1. 10:00 朴恩珠 氏(大阪女学院大学)  
『副詞的連用語尾につく「만」について  
—「VI(어·아)+V2」型動詞を題材に—』

2. 10:25 廣瀬 陽一 氏(大阪府立大学)  
『中野重治の石川啄木論—「国民感情」との対決』

3. 10:50 任正赫 氏(朝鮮大学校)  
『新民謡「朝鮮八景歌」とそれを取り巻く人たち』

1. 10:00 全ウンフィ 氏(大阪市立大学)  
『住民2世の土地利用にみる在日の周縁的集住地域の  
存続過程—京都府A地区を事例に—』

2. 10:25 高橋 優子 氏(九州大学大学院)  
『在日コリアン被爆者たちの「南北統一」』

3. 10:50 姜健栄 氏(大同クリニック)  
『石綿被害者の在日同胞労働者—大阪府泉南市—』

第12回 理事会 11:30~12:30

中央館 | 階会議室

第22回 総会 12:45~13:25

西館 | 階ホール

【午後の部】 13:30~17:00

西館 | 階ホール

## 朝鮮半島の民族芸能と在日コリアン

今回の学術会議では、朝鮮半島で育まれた民族音楽を継承しているパンソリ唱者の安聖民さん、南道民謡の継承者である安留奈さん、西道民謡の継承者である宋明花さんの三人の表現者をお招きしている。在日コリアン3世であるかれらが「音」や「声」の重ねて織りなす民族音楽を体感する。同時に、在日コリアンとして民族音楽を継承することを選んだ経緯や民族音楽を修得過程での経験をお話いただく。そして、二部では三人の表現者とコメンテーターを交えて民族音楽の継承としての観点から、日本での在日コリアンの表現者たち観点から議論したい。

### 第一部 民俗芸能の実演と話

映画『アリラン峠を越えていく—在日コリアンの音楽』(ダイジェスト版)上映

会長挨拶と趣旨説明

そんみよん ふぁ

宋明花 さん(西道民謡、ピョンチャン) 鼓手：趙倫子 さん

あん ゆ な

安留奈 さん(南道民謡、伽耶琴ピョンチャン) 鼓手：李眞秀 さん

あん そん みん

安聖民 さん(パンソリ) 鼓手：趙倫子 さん

### 第二部 総合討論

司 会 高正子 さん(神戸大学)

コメント 寺田吉孝 さん

(国立民族学博物館 学術資源研究開発センター 教授)

姜信子 さん(作家、表現者)

討 論

【懇親会】 17:30~

1 階食堂 (参加費3,500円)



西道民謡歌手 宋明花 ソンミョンファ

1995年 平壤音楽大学 専門部（民族声乐科）卒業  
 1995年～2016年 金剛山歌劇団 在籍  
 アン・ビョングク、キム・グァンボ、ケ・チュニ氏に朝鮮半島の西道民謡を師事  
 チョン・ミョン氏にベルカントを基礎としたボイストレーニングを受ける  
 1995年～2006年 ビョンヤン公演に多数参加  
 1999年 ニューヨーク公演参加  
 2003年 韓国公演参加。 ユン・ドヒョンバンド、韓国の国立国楽管弦楽団と共演  
 2009年 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団と共演  
 平壤春の祭典にて「リョンガンキナリ」を歌い金賞受賞  
 2016年 宋明花朝鮮民謡教室 開講



伽倻琴併唱 安留奈 アンユナ

韓国指定重要無形文化財第23号伽倻琴散調及び併唱専修者  
 ソウル市重要無形文化財第44号三絃六角奚琴専修者  
 姜貞烈(韓国指定重要無形文化財第23号伽倻琴散調及び、併唱芸能保有者)先生師事  
 裴舞扇(朱然禧)先生に伽倻琴散調師事  
 安留奈の韓国伝統芸術世界「嘉楽の会」代表



パンソリ唱者 安聖民 アンソンミン

大阪市生野区生まれ  
 私立関西大学文学部史学・地理学科卒業  
 1998年 韓国留学  
 2002年 漢陽大学音楽大学院国楽科修士課程修了  
 重要無形文化財第5号パンソリ「水宮歌」技能保有者・南海星先生に師事し、  
 2016年履修者認定  
 2013年 第40回南原春香国楽大典・名唱部にて審査員特別賞受賞  
 2016年 ソウルと大阪にて「水宮歌」完唱公演



鼓手 趙倫子 チョリユンジャ

大阪府大東市生まれ  
 韓国東亜大学校日語日文学科修士課程修了  
 2008年より民族文化牌マダンにて活動  
 楽士はもとより、創作パンソリやマダン劇の脚本をてがける



鼓手 李眞秀 イジンス

全南大学音楽大学国楽科卒業（同大学大学院修士課程修了）  
 韓国指定重要無形文化財第5号パンソリ鼓法履修者  
 第15回全国国楽大典名鼓部文化体育部長官賞受賞  
 インドンチョ国楽大祭典一般部大賞受賞  
 全羅南道道知事賞受賞

## 目 次

### 【自由論題①】

- ・『副詞的連用語尾につく「만」について  
— 「V1(어・아)+V2」型動詞を題材に—』朴恩珠 2
- ・『中野重治の石川啄木論—「国民感情」との対決』廣瀬 陽一 11
- ・『新民謡「朝鮮八景歌」とそれを取り巻く人たち』任正嫻 21

### 【自由論題②】

- ・『住民 2 世の土地利用にみる在日の周縁的集住地域の存続過程  
— 京都府 A 地区を事例に—』全ウンフィ 22
- ・『在日コリアン被爆者たちの「南北統一」』高橋 優子 26
- ・『石綿被害者の在日同胞労働者—大阪府泉南市—』姜健栄 32

### 【シンポジウム】

- ・『朝鮮半島の民族芸能と在日コリアン』 39
- ・ドキュメンタリー映画『アラン峠を越えていく—在日コリアンの音楽』 40
- ・宋明花—西道民謡～ソドソリ～ 41
- ・安留奈—南道民謡 43
- ・安聖民 — パンソリについて 47

### 【資料】

- ・「希望を詰め込んだ舞台届けたい」 宋明花 『朝鮮新報』 2014.12.19
- ・「夕月花日鳥—韓国伝統芸術世界に生きる」 安留奈 『抗路』 3号 2016.12
- ・「パンソリに魅せられて」 安聖民 『抗路』 2号 2016.5

# 副詞的連用語尾につく「만」について

## －「V<sub>1</sub>(어・아)+V<sub>2</sub>」型動詞を題材に－

朴恩珠（大阪女学院大学非常勤）

### 1. はじめに

韓国語の助詞「만」<sup>1</sup>は唯一限定、縮小制限、強調、排他性などの意味役割を果たすと同時に、文の意味解釈に重義性をもたらすものとみなされている。先行研究では名詞につく「만」をめぐる言及が多数あり、名詞につく「만」は文に重義性をもたらし、含意分析ができるものとみなされている。名詞以外につく「만」においては副詞的連用語尾に関する言及が若干あるが、副詞的連用語尾につく「만」は強調を表すものとみなされている。このように文において語用的な意味解釈をもたらす「만」のさらなる意味役割を知るためには単文より文脈を通してみるものが求められる。しかし、先行研究では「만」の出現場面について単文の事例を用いて分析している。

本研究では会話に現れる「V<sub>1</sub>(어・아)+V<sub>2</sub>」型動詞を題材に副詞的連用語尾<sup>2</sup>「어・아」につく「만」を分析対象とし、分析においては単文だけではなく、会話事例<sup>3</sup>を用いて「만」の意味役割を考察する。

本研究の目的は、副詞的連用語尾「어・아」につく「만」は、常に強調を表すのみで重義性をもたらすことができないのかどうかを明らかにすることである。

### 2. 先行研究と本稿の分析範囲

「만」の重義性については、최재웅(1996.1998)、최규련(1998)、김정민(2000)などで言及されている。これらの先行研究では限定や排他、焦点化などのように別の立場で「만」の意味役割を分析しているが、いずれも「만」の出現によって意味解釈に重義性をもたらす、という見解は共通している。「만」がもたらす意味解釈の重義性は[例 1]のようなものである。

[例 1] 동수가 순이만 따라다닌다. (최재웅.1996:673)

上記の[例 1]は「만」が名詞の「순이」につく場合で、第一の意味として「トンスが他の人ではなく、スニだけ追い回す」<sup>4</sup>という意味を持つが、文脈によっては「トンスが勉強(仕事)など全然せ

<sup>1</sup> 「만」は研究者によって補助助詞、特殊助詞、限定助詞などの名称で呼ばれている。詳細なことは、김진호(2000), 남윤진(2000), 목정수(1998), 이남순(1996), 임동훈(2004, 2007), 성광수(1999), 채완(1986, 1998), 황화상(2003), 홍사만(2002)など参照。

<sup>2</sup> 최현배(1961)では、補助用言と関連する「어/아」は副詞形の範疇に認め、서정수(2005)では接続形態「어서」の特殊な用法の一つであるとし、홍사만(2002)では連用語尾と称した。本研究では홍사만(2002)と同様に連用語尾という用語を用いる。

<sup>3</sup> 分析資料は1990年～2010年の間、韓国で放映されたテレビドラマから抽出した会話事例である。

<sup>4</sup> 「만」の和訳において、会話事例によっては「ばかり」や「のみ」の方が「だけ」よりふさわしい場合もあるが、文の統一のために「だけ」を用いることにする。尚、会話事例の和訳は韓国語文の内容を優先して直訳

ず、スニだけ追い回す」という解釈も成り立つものとみられる。

[例 1]のような事柄を表す場合、実際に韓国語母語話者の会話においては[例 1]だけではなく、下記[例 2]のように発話される場合も多い。

[例 2] 동수가 순이를 따라만 다닌다<sup>5</sup>.

[例 2]は[例 1]と同じ文に「만」が名詞ではなく、副詞的連用語尾「어・아」につく場合である。このように副詞的連用語尾につく「만」について、홍사만(2002)では下記[例 3]のように例示し、基本的に副詞的連用語尾につく「만」は話者の気持ちを強調するために添加されるものとみなしている。

- [例 3] a. 이 서류를 받아만 주십시오.  
b. 산사의 밤은 점점 깊어만 간다.  
c. 완전히 낮게만 된다면 더 바랄 게 무어나.  
d. 사람을 궁금하게만 해 놓고,  
e. 두 시로 가지만 읽는다면 공항에 나가겠다.  
f. 이것 고쳐 놓지만 못해바라.  
g. 머리 숙이고 들고만 있었다.  
h. 어쩐지 울고만 싶은 밤이다. (홍사만:2002:257)

홍사만(2002) が取り上げた[例 3]をみると、副詞的連用語尾につく「만」は話者の気持ちを強調するために添加されるものといえるかも知れない。しかし、[例 3]は副詞的連用語尾につく「만」の意味役割について単文を通して見たものなので、包括的に「만」の出現前後の文脈に範囲を広げて観察する必要がある。

[例 1]と[例 2]をみる限り、「만」の出現環境が意味解釈に影響を及ぼすことは明らかである。つまり、[例 1]と [例 2]は「トンスがスニを追い回している」行為は同じであるが、「만」の出現環境によって[例 1]と [例 2]は同じ意味解釈には捉えられないのである。

本報告では先行研究より分析範囲を広げて会話を通して「만」の出現を観察し、分析は次のように行う。

- 1) 「어・아」につく「만」の意味役割を文脈で分析する。
- 2) 「어・아」につく「만」の意味役割を単文で分析する。

具体的に、3節では副詞的連用語尾につく「만」は[例 2] や[例 3]のように強調のみを表すものなのかどうか、文脈を通して確かめてみる。4節では副詞的連用語尾につく「만」を [例 2]のように単文にして、その単文をまた[例 1]の形にして比較してみる。さらに、副詞的連用語尾につく「만」の意味役割が 1) のように文脈でみた場合と、2) のように単文でみた場合に相違があるのかどうかを検討する。

---

を用いるため、日本語として多少不自然な文になる場合がある。

<sup>5</sup> 本研究で用いられる「V<sub>1</sub>(어・아)+V<sub>2</sub>」型動詞は意味解釈から分かち書きできないものが過半数を超えるが、文の統一を優先して「V<sub>1</sub>(어・아)+V<sub>2</sub>」型動詞の副詞的連用語尾に「만」がつく場合、分かち書きをすることにする。[例:알아만 내다.]

### 3. 文脈を通してみる「어·아」につく「만」について

ここでは副詞的連用語尾「어·아」につく「만」の会話事例を取り入れて重義性の意味解釈ができるかどうかを分析してみる。

[例 1]が示しているように、名詞につく「만」の重義性は一見して分かるが、[例 3]のように副詞的連用語尾につく「만」の重義性は一見して分かるようなものではない。このような違いは「만」の出現環境に関わるものと考えられる。つまり、「어·아」は名詞のように独立して文に現れることはできず、複合動詞や合成動詞<sup>6</sup>をつなぐ役割として現れる。その「어·아」につく「만」の意味役割を前後の言葉に関わる一部分だけを見ると、「만」の作用域を語彙レベルで制限することになるので、会話レベルに範囲を広げて「만」の出現に関わる文脈を通して観察を行う。

「어·아」につく「만」の出現場面を会話内容に応じて次の3つに分けることができる。

- (A) 含意文の類似形が表出している場合
- (B) 狭い範囲をもって含意文をもたらす場合
- (C) 広い範囲をもって含意文をもたらす場合

この3つのタイプの会話事例を取り上げて「만」の意味役割を調べてみる。

#### 3.1 文脈を通してみる「만」の意味解釈

ここでは、「V<sub>1</sub>(어·아)+V<sub>2</sub>」型動詞の副詞的連用語尾につく「만」を上記の(A),(B),(C)のように3つのタイプに分けて分析を行う。

##### (A) 含意文の類似形が表出している場合

「만」の重義性の意味役割を前提に、含意文の類似形が文に表出している場合というのは、「만」の出現の下で想定される含意文に類似した内容が発話されているものを示す。下記の会話事例をみよう。

- (1) 양돌만/ 민희씨는 손도 참 예쁘다. 오늘 퇴근하구 뭐 할 거예요? 나랑 놀러갈래요?

이민희/ 손은 여자의 자존심이라고 엄마가 그랬거든요. 그러니까요, 손대지 말고 여기다가  
끼워만 주세요. 빨리요.

양돌만/ 네엣?

ヤンドルマン/ ミンヒさんは手も、とてもきれいだな。今日仕事が終わったら何しますか?

僕と遊びに行きませんか?

イミンヒ/ 手は女の誇りだと母が言いました。ですから、触らずに、ここにはめて(だけ)ください。

はやく。

ヤンドルマン/ はあ? (神話, SBS, 10回.2001)

- (2) 윤성현/ 근데 민아, 내가 갖고 있는 사진들 중에 네 얼굴은 한 장도 없다.

넌 맨 날 찍어만 주니까.

강민/ 아, 찍는 건 해도 찍히는 건 못 하겠더라. 영 어색해서. 왜?

---

6 韓国語では2つの言葉が結合してなす動詞を意味解釈に応じて複合動詞と合成動詞と区分する。複合動詞は「A+B=AB」のように2つの単語が合成されて2つの単語の意味役割をそのまま保つ場合で、合成動詞は「A+B=C」のように2つの単語が合成されて新たな意味を成す場合を指す。詳細は김기혁(1995)参照。

ユンソンヒョン/ ところで、ミン、私の写真の中にあなたの顔が写ったものは一枚もないわ。

あなたはいつも撮って(だけ)くれるからね。

カンミン/ まあ、そうね。撮るのはいいが、撮られるのはなんだか落ち着かなくてさ。

で、どうしたの? (クエンキ, KBS2, 22回, 1998)

上記の会話事例(1)~(2)に現れた「만」によって想定される含意文を文脈から考えてみよう。

事例(1)の「끼워만 주세요 (はめてだけください)」には、「触らずに指輪だけ」、「他ではなく私の指に」という含意文が想定できるが、会話の中に「손대지 말고」、「여기다가」という言葉が発話されているので、文に含意文の類似形が表出しているものと考えられる。

事例(2)の「찍어만 주니까 (撮ってだけくれるから)」から想定できる含意文は「自分は撮られず」、「友達と一緒に写ることなく」である。しかし、カンミンが「찍는 건 해도 찍히는 건 못 하겠더라」のように発話しているので、含意文に類似した内容が表出しているものと考えられる。

上記の「含意文の類似形が表出している場合」において、仮に含意文の類似形が文に表出していなかったとしても、ここで出現する「만」は含意文をもたせるものである。つまり、(1)~(2)の会話事例に現れた「만」は文に重義性をもたらすことができるものといえる。

さらに、発話文が含意文をもつとすれば、話者はその含意文にあたる内容をあえて言わなくても、その内容について会話者同士は相互に認識しているはずである。それにもかかわらず、話者は「만」によって想定される含意的な内容をあえて発話している。それは会話における「繰り返し」<sup>7</sup>に類似するものと思われるが、「繰り返し」はある事柄を強調する時に用いる1つの方法である。つまり、話者は「만」によって表面上に現れなくても認知できる含意的な内容を実際に述べることで「繰り返し」と同じ効果を得ようとしているものと思われる。

## (B) 狭い範囲をもって含意文をもたらす場合

次の会話事例から「만」の意味役割を観察してみよう。

(3) 엄마/ 그래도 안돼.

명화/ 알아만 보고 온다니까.

엄마/ 뭘 더 알아봐, 춘배 그놈이 한 짓이라는 거 몰라?

母/ それでも、だめ。

미ョン하/ 調べて(だけ)みてくるから。

母/ 何をまた調べてみるの、チュンベ、あいつがやったことに間違いないわ、まだ分らないの? (日差しの中へ, MBC.16回.2000)

(4) 강민/ 내가 말한 거 기억나? 까르티에 브렛송.

표류나/ 그럼 이제 바라만 보는 건 끝내기로 한 거야?

강민/ 그래야 할 것 같다. 그러는 게 좋을 것 같다.

カンミン/ 僕が言った言葉覚えている? カルティエ・ブレッソン。

ピョリュナ/ じゃ、もう眺めて(だけ)みるのは終わりにしたの?

カンミン/ そうすべきかもしれない。そうね、それがよさそうだな。(クエンキ, KBS2.12回.1998)

<sup>7</sup> 会話における「繰り返し」は強調として用いることが多いが、その役割について詳細なことは Tannen(1989), Brown・Levinson(1987)参照。

上記の会話事例(3)~(4)に出現している「만」によって想定される含意文を考えてみよう。  
事例(3)の「알아만 보고」からは「真相以外には深く触れずに」あるいは「何も話さずに」などの含意文が想定できる。

事例(4)の「바라만 보는」からは「何もせず」あるいは「気持ちを打ち明けずに」などの含意文が想定できる。

以上のように、会話事例(3)~(4)は「만」の出現による含意分析ができる。

### (C) 広い範囲をもって含意文をもたらす場合

次の会話事例に出現する「만」の意味役割を観察してみよう。

(5) 민지훈/ 바빴나? 어제 하루종일 기다렸다. 전화기도 전부 꺼놓고...

금희/ ...그래서 말인데 다른 기증자를 찾아봐야 할 것 같아. 다른 기증자를 찾으려면 어떻게 해야 돼, 오빠? 가르쳐만 줘. 나, 엄마 살릴 수 있는 일이라면 뭐든지 다 할 거야.

ミンチフン/ 忙しかったの? 昨日、一日ずっと待っていたの。電話機も全部切ってしまっ...

クミ/ ...それだけでと、他の寄贈者を探さなきゃいけないと思うの。他の寄贈者を探すためにはどうすればいいの、チフン、教えて(だけ)くれる? 私、母さんの命が助かるんだったら何でもするわ。(威風堂々, MBC.11回.2003)

(6) 어머니/ 애, 현대하고 지연이 불러라. 명태도 나오고 했는데 우리 잔치하자.

아버지/ 불러만 봐. 그놈들 오면 내가 집을 나갈 거야, 이거. 불러만 봐.

母親/ ほら、ヒョンテとチヨンも呼んでね。ミョンテも出所したことだし、皆でお祝いしよう。

父親/ 呼んで(だけ)みたら。あいつらが来たら俺が家出をするから。まったく、呼んで(だけ)みて。

(コッチ, KBS.36回.2000)

上記の事例(5)~(6)に出現している「만」は文全体の内容を通すと下記のように含意文が想定できる。

(5)の「가르쳐만 줘」に出現している「만」は「直接に手を打たず」、「時間やお金がかかることであっても」のように含意文が想定できる。

(6)の「불러만 봐」の場合、想定される含意文は「俺の気持ちは考えず」、「俺が許してないのに」になる。ここに出現している「만」は排他的な役割を含んでいる。

(A)と(B)が文脈の狭い範囲を通して含意文が想定できるものであるとすれば、(C)は広い範囲を通して、「만」の出現による含意文が想定できる場合といえる。上記の(C)の事例文(5)~(6)をみると、「만」は文の中で広い範囲にわたって影響を及ぼすことが分かる。つまり、文における「만」の作用域は文脈に応じて狭い場合と広い場合があるといえる。

## 4. 副詞的連用語尾と名詞につく「만」について

ここでは、3節で取り上げられた「V<sub>1</sub>(어・아)+V<sub>2</sub>」型動詞の副詞的連用語尾につく「만」の出現事例を単文で取り上げ、その事例文を[例 1]のように「동수가 순이만 따라다닌다(トンスがスニだけ追い回している).」のように名詞につく「만」の形にして、副詞的連用語尾につく「만」と比較

しながらそれぞれが示す意味解釈を分析してみる。

#### 4.1 「어・아」と名詞につく「만」の比較

下記の事例の a は副詞的連用語尾につく「만」を単文で取り上げたもので、b は a を[例 1]の形にしたものである。

##### (A) 含意文の類似形が表出している場合

###### (1) 여기다가 끼워만 주세요.

上記の(1)を[例 1]の形にすると、「여기다가 반지만 끼워주세요.」のようになる。これら 2つの文を比べてみよう。

###### a. 여기다가 끼워만 주세요.

(ここにはめて(だけ)ください。)

###### b. 여기다가 반지만 끼워주세요.

(ここに指輪だけはめてください。)

a の場合、話者の思っている事柄が強調されている。つまり、とにかく「はめてほしい」という話者の気持ちを表している。すなわち、ここで「만」の役割は「はめてほしい」ということの強調である。一方、b の場合「指輪だけ」は状況によって 2つの意味解釈が可能である。1つ目は「ネックレスやブレスレット」ではなく指輪がほしいということである。2つ目は「他のことは(愛の告白など)せず」ということが解釈できる。

###### (2) 맨 날 찍어만 주니까.

(いつも撮って(だけ)くれるから。)

上記の(2)を[例 1]の形にすると、「맨 날 우리만 찍어주니까.」のようになる。これら 2つの文を比べてみよう。

###### a. 맨 날 찍어만 주니까.

(いつも撮って(だけ)くれるから。)

###### b. 맨 날 우리만 찍어주니까.

(いつも私たちだけ撮ってくれるから。)

a の場合、いつも「撮ってあげる」行為が「만」によって一層取り立てられる効果を得ている。一方、b の場合の「私たちだけ」は、状況によって 2つの意味解釈ができる。1つ目は、「他の人(もの)ではなく」ということである。2つ目は、「他のことは何もせず」という解釈が可能である。「撮る」という事柄に「만」の意味役割は関わっているものの、a と b に出現している「만」は文意に相違をもたらしている。

##### (B) 狭い範囲をもって含意文をもたらす場合

ここでは、(B)「狭い範囲をもって含意文をもたらす場合」の事例を単文で取り上げ、[例 1]の形にして「만」の意味役割を比較してみる。

###### (3) 「알아만 보고 올게.」

(調べて(だけ)みてる。)

上記の(3)を[例 1]の形にしてみると、「그것만 알아보고 올게.」のようになる。これら 2つ

の文を比べてみよう。

a. 알아만 보고 올게.

(調べて(だけ)みてくる。)

b. 그것만 알아보고 올게.

(それだけ調べてみてくる。)

a の場合の「만」は「調べてみる」ことを制限して、それ以上は物事を進めないという話者の気持ちが強調されている。一方、b の「それだけ」は状況によって 2 つの意味解釈ができる。1 つ目は、「他のものではなく」ということである。2 つ目は、「余計なことは何もせず」ということである。つまり、a と b の文が示す「調べてみる」という基本的な事柄は類似するものの、「만」の出現環境によって意味解釈に相違が生じる。

(4) 「바라만 보는 건 끝내기로 한 거야?」

(眺め(だけ)みることは終わりにしたの?)

上記の(4)を[例 1]の形にしてみると、「그 사람만 바라보는 건 끝내기로 한 거야?」のようになる。これら 2 つの文を比べてみよう。

a. 바라만 보는 건 끝내기로 한 거야?

(眺め(だけ)みることは終わりにしたの?)

b. 그 사람만 바라보는 건 끝내기로 한 거야?

(その人だけ眺めてみることは終わりにしたの?)

a の場合、「ただ眺めてみるだけ」という事柄に話者は強調をかけている。一方、b の「あの人だけ」は状況によって 2 つの意味解釈ができる。1 つ目は、「他の人ではなく」ということである。2 つ目は、「他のことは何もせず」という解釈である。

### (C) 広い範囲をもって含意文をもたらす場合

ここでは、(C)の「広い範囲をもって含意文をもたらす場合」の事例を単文で取り上げ、[例 1]の形にして「만」の働きを比較してみる。

(5) 「다른 기증자를 찾으려면 어떻게 해야 하는지 가르쳐만 줘.」

(他の寄贈者を探すために、どうすればいいのか教えて(だけ)くれ。)

上記の(5)を[例 1]の形にしてみると「다른 기증자를 찾으려면 어떻게 해야 하는지 방법만 가르쳐줘.」のようになる。これら 2 つの文を比べてみよう。

a. 다른 기증자를 찾으려면 어떻게 해야 하는지 가르쳐만 줘.

(他の寄贈者を探すために、どうすればいいのか教えて(だけ)くれ。)

b. 다른 기증자를 찾으려면 어떻게 해야 하는지 방법만 가르쳐줘.

(他の寄贈者を探すために、どうすればいいものか方法だけ教えてくれ。)

a の場合、どうしても「教えてほしい」という切羽詰まった話者の気持ちが強調されている。一方、b の「方法だけ」は状況によって 2 つの意味解釈ができる。1 つ目は、「直接に手を打たず」ということである。2 つ目は、「お金や時間のことは考えず」ということである。

(6) 「…이거, 불러만 봐.」

(…ほら、呼んで(だけ)みて。)

上記の(10)を[例 1]の形にしてみると、「현재하고 지연이만 불러봐.」のようになる。

a. …이거, 불러만 봐.

(…ほら、呼んで(だけ)みて。)

b. 현대하고 자연이만 불러봐.

(ヒョンテとチヨンだけ呼んでみて。)

a の場合、「だれかを呼ぶこと」に対する話者の不快な感情が強調されている。一方、b の「ヒョンテとチヨンだけ」は状況によって 2 つの意味解釈ができる。1 つ目は、「他の人ではなく」ということである。2 つ目は、「他のことはせず」ということになる。

以上のように、(A)、(B)、(C)の副詞的連用語尾につく「만」の事例文を単文で取り、その文とその内容を[例 1]のように名詞につく「만」の形にして比較してみた。副詞的連用語尾につく「만」の出現場面を単文でみた場合、副詞的連用語尾につく「만」は重義性をもたらすことはできなかったが、名詞につく「만」は重義性をもたらすことが確認された。

## 5. おわりに

本研究では「V<sub>1</sub>(어・아)+V<sub>2</sub>」型動詞を題材に次の 2 つの観点から分析を行った。

1) 副詞的連用語尾の「어・아」につく「만」は含意分析ができるものか否か。

2) 副詞的連用語尾と名詞につく「만」の意味役割は同じものか否か。

まず、副詞的連用語尾「어・아」につく「만」を検討するため、「V<sub>1</sub>(어・아)+V<sub>2</sub>」型動詞の副詞的連用語尾につく「만」の事例を会話内容に応じて次のように 3 つに分けて観察した。

(A) 含意文の類似形が表出している場合

(B) 狭い範囲をもって含意文をもたらす場合

(C) 広い範囲をもって含意文をもたらす場合

上記の(A)、(B)、(C)に取り上げられた会話事例をそれぞれの文脈を通して「만」の意味役割をみると、(A)、(B)、(C)の会話事例に出現している「만」は含意分析ができるものであった。具体的に、「어・아」につく「만」の作用域は文によって狭い範囲と広い範囲に分けられるので、含意文もそれに応じてもたされることが分かった。

このような結果から副詞的連用語尾「어・아」につく「만」は文脈を通してみると含意分析が可能であることが明らかになった。

次に、副詞的連用語尾と名詞につく「만」の意味役割は同じものか否かについて観察するため、[例 1]「동수가 순이만 따라다닌다(トンスがスニだけ追っ回している。)」のように名詞につく「만」と、[例 2]の「동수가 순이를 따라만 다닌다(トンスがスニを追っだけ回している。)」のように「어・아」につく「만」について、「만」の出現事例を単文で取り上げてそれぞれの意味役割を比較してみた。

その結果、「동수가 순이를 따라만 다닌다。」のように単文でみた場合、「어・아」につく「만」が果たす意味役割は話者の気持ちや心境を強調もしくは取り立てるものであり、重義性をもたらすことはできなかった。それは「만」の出現環境と関係があるものと推測される。つまり、「어・아」につく「만」の意味役割を単文と文脈で分けてみた場合、「만」の出現による意味役割に齟齬がある。具体的に、「어・아」につく「만」を単文でみた場合、「V<sub>1</sub>」と「V<sub>2</sub>」をつなぐ役割の副詞的連用語尾について現れるものであり、「만」の作用域が語彙レベルに限定されるために含意分析ができないものとみなされる。この場合の「만」は話者の気持ちを強調するために用いられた付加語<sup>8</sup>として役

<sup>8</sup> 付加語というのは文の特定なところに強調や焦点を置くために用いる要素を指す。詳しくは정희자(2001)参照。

割をしているものと考えられる。

一方、「동수가 순이만 따라다닌다.」の場合、「만」は状況によって常に2つ以上の意味解釈ができる。その理由として、名詞はそもそも明確な意味役割を持っているので、名詞につく「만」の意味役割も明確に定められる。つまり、「동수가 순이만 따라다닌다.」の場合、ここで出現する「만」は名詞「순이」を限定すると同時に「순이」以外のことを排他する働きをするため、文に重義性をもたらすものと考えられる。

今回の分析の限りでは、副詞的連用語尾「어・아」につく「만」は名詞につく「만」の意味役割と異なるところがみられた。具体的に、名詞につく「만」は意味役割の対象が名詞のみに定められるため、その名詞をめぐる限定と排他を同時に表す。そのため、「만」の作用域が狭いか広いかに関わらず、常に含意分析ができるものである。しかし、副詞的連用語尾「어・아」につく「만」は文脈でみると含意分析ができるが、単文でみると含意分析はできないのである。言い換えると、文脈でみる場合の「만」の作用域は会話レベルで、単文でみる場合の「만」の作用域は語彙レベルであるといえる。

今回の分析によって、副詞的連用語尾につく「만」の意味役割について、新たな一面を見出すことができたと思われる。

#### 【参考文献】

- 김기혁(1995) 『국어 문법 연구』, 서울 도서출판 박이정.
- 김정민(2000) 「초점사와 통사의 의미」 『독일어 문학』, pp.379-403.
- 김진호(2000) 『국어 특수조사의 통사/의미연구』, 역락.
- 남윤진(2000) 『현대국어의 조사에 대한 계량언어학적 연구』, 태학사.
- 목정수(1998) 「한국어 격조사와 특수조사의 지위와 그 의미-유형론적 접근-」 『언어학』 23, pp.47-78.
- 서정수(2005) 『한국어의 부사』, 서울대학교출판부.
- 성광수(1999) 『격 표현과 조사의 의미』, 월인.
- 정희자(2001) 『담화와 문법』, 한신문화사.
- 이남순(1996) 「특수조사의 통사기능」 『진단학보』 82, pp.217-235.
- 임동훈(2004) 「한국어 조사의 하위 부류와 결합유형」 『국어학』 43, pp.119-154.
- (2007) 「한국어 조사 만과 도의 의미론」 『朝鮮學報』 205, pp.1-20.
- 최규련(1998) 「국어 초점사 '다만과'-만'의 의미」 『한글』, pp.299-322.
- 최재웅(1996) 「만의 작용역 중의성」 『언어』, pp.673-692.
- (1998) 「한국어 특수조사'만': 형식의미론적 분석」 『한국어 의미학』 3, pp.41-65.
- 채완 (1986) 「특수조사」, 『국어생활』 5, pp.91-101.
- (1998) 「특수 조사」 『문법 연구와 자료』, 태학사.
- 최현배(1961) 『우리말본』 (세번째 고침), 정음사.
- 황화상(2003) 「조사의 작용역과 조사중첩」 『국어학』 42, pp.115-140.
- 홍사만(2002) 『국어 특수조사의 신연구』, 역락.
- Brown, Penelope & Stephen Levinson (1987) *Discourse Analysis*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Tannen, Deborah (1989) *Talking Voices: Repetition, Dialogue, and Imagery in Conversational Discourse*. Cambridge: Cambridge University Press.

## 中野重治の石川啄木論——「国民感情」との対決

廣瀬陽一（大阪府立大学非常勤講師）

### 1. はじめに

「啄木に関する断片」（1926年）……中野重治の最初の啄木論で、社会主義者・啄木像を打ち立てた記念碑的エッセイ

- 他の文学者や革命運動家を扱った論考には見られない大きな特徴
  - 評価の重心の移動

#### 「啄木に関する断片」（1926年）

当時わが国の詩は『明星』の極盛期であり、その影響を受けた彼が一人の若い浪漫的感傷詩人として出発したことは前述のごとくである。注意すべきことは、だが、「君死に給ふことなかれ」の一篇において、封建的軍国主義にたいする勃興し来たつた市民の果敢な浪漫的反抗を歌いあげた与謝野晶子氏のごときが、『明星』の運動の固定化につれて退嬰し、保守し、有産者化したに反して、新詩社社中俊英の一人であつた啄木が、いくぶんの反抗を示して行つたこと、それら有頂天の夢想家どもから漸次<sup>〔ママ〕</sup>に分離して行つた点にある。

与謝野晶子の詩歌に代表される、浪漫主義的傾向との〈別れ〉から社会主義へ

- 1960年代、与謝野鉄幹と啄木との関係に移動

#### 「石川啄木について」（1968年）

もう一つの問題、これを私はもつとも悪くしかしらべていないので、言うのをはばかる気がするけれども敢えて挙げておきたい。それは、啄木におけるインタナショナリズムの問題である。むろん当時の歴史条件ということがあつて、啄木における国際主義は矛盾したものを持っている。正確でなくて曖昧なものを持っている。一面でそれはナショナリズムを内包しているともいえる。それにもかかわらず、当時の日本のなかで、当時の日本の彼以外の大多数の文学者たちに比べて、類のそれほどにない切実さで啄木はインタナショナリズムにはいつていると思う。朝鮮問題にたいする彼の態度その他にそれがよく見えている。これは政治問題にも直接にふれるだけ、啄木の矛盾がそこにいつそうよく露出されていると言える点をも含めてそうだつたと思う。与謝野鉄幹の朝鮮にたいする考え方、その実行、そんなものはもう忘れられていた。覚えているものも軽くあしらつて古い屑としてこれを捨て去つていた。しかし、「虎の鉄幹」の持っていた日本中心主義、植民地主義、

国粹論的ナショナリズムは現実に生きていた。詩壇、文壇が捨ててかえりみなかつたとしても、詩壇、文壇をふくんでこれを全体として支配していた政治的日本の現実はそのにあった。それは、第二大戦<sup>(ママ)</sup>の敗北をとおしてほとんど全く変わった現在にまで生きている。あるいは、この点でこれがそれほど不死身だということに、敗戦による日本の変化が何か不変化であることの裏づけがある。

## ■ 与謝野鉄幹

1892年、落合直文（歌人・国文学者）に師事

1894年、日清戦争勃発。戦争賛美の詩歌を盛んに発表。

1895年4月、日清講和条約調印前後、鮎貝槐園（落合の弟）が創設した乙未義塾の教師として渡韓すると、韓国各地の風景や大陸浪人的な悲憤慷慨を詠い、時代の寵児となる。

➤ 「虎の鉄幹」……それらの詩歌に太刀や朝鮮虎が数多く詠まれたことに由来。

1895年10月8日、朝鮮王妃殺害事件（以下「閔妃殺害事件」）起こる。

➤ 鉄幹、のち、この事件の発端が、同年夏に自分と鮎貝と堀口九萬一（外務省領事館補・堀口大学の父）の三人による謀議にあったと回想。

「与謝野鉄幹の朝鮮にたいする考え方、その実行」

……この時期の鉄幹の、こうした政治活動や詩歌。

- 晶子の浪漫主義的傾向から「漸次に分離して」社会主義に向かった啄木
- 「虎の鉄幹」の持っていた日本中心主義、植民地主義、国粹論的ナショナリズムの券<sup>レ</sup>囲<sup>ド</sup>気が充満していた時期に、「インタナショナリズムにはいつて」いた啄木
- 最終到達点だけを見れば差異がないように思えるが、そうではない。

## ● 晶子から鉄幹への移動が生じた時期の中野の活動

1960年代……『甲乙丙丁』をはじめ、日本共産党の官僚化や組織的硬直化を批判する小説やエッセイを数多く発表。

1970年代……「通信方位」や「緊急順不同」などで繰り返され、党や中野自身を含む日本人共産主義者が朝鮮問題を軽視ないし無視してきたことを批判。

## ■ 「日本の革命運動の伝統の革命的批判」を実践し始めた時期。

➤ 晶子との関係の中で中野が見出した啄木像と、鉄幹との関係の中で中野が改めて見出した啄木像の間の断絶。

## 2. 啄木論における晶子から鉄幹への移動

中野の啄木論の中に朝鮮への言及が登場するのは敗戦後。

#### 参考：『啄木詩集』解説（1947年）

〔啄木は〕十か十一で日清戦争をむかえ、二十か二十一で日露戦争をむかえ、二十五か六で幸徳事件と韓国合併とをむかえ、二十八で、第一次大戦の二年まえに貧乏と病気とで死んだのである。

〔中略〕啄木は生まれた詩人であつた。しかし、日露戦争をへて伸びてきた帝国日本、国内の革命運動を残酷におさえ、同じ手口で外国朝鮮を奪い、そのまま帝国主義世界戦争へと突き進んで行つた日本は、「帝国主義論」のなかでその名をあげて問題とされたほどの力でこの詩人を死なせたのであつた。

#### 参考：啄木研究のひろがりについて（1949年）

啄木が抱いていた社会思想がどういうものだつたかということは明らかになっています。それですから、あの当時、日本の人民が非常に大きな苦痛を感じ、また政治の間違いによつて生活と文化とを非常に後らされていることにたいする啄木の怒りははつきり出ていますが、その啄木が、自分で日本をこういう方に持つて行きたいと考えていたその考えと、伊藤博文などが日本を築いて行こうとした考えとでは、その方向というものを取りだしてみると必ずしも正面衝突ばかりするものではなかつた。つまり、啄木が日本の将来に関して描いていた図面のなかには、伊藤博文が日本の将来に関して描いていた図面と衝突するものもあつたけれども、また一致する点も相当あつた。こういうことが今となつては考えられると思います。そしてこのことこそ、いまのわれわれには完全になくなつていく大きな事からです。

#### 石川啄木の生涯と仕事（1953年）

つづいて、さまざまな社会現象の変化、政治権力の動き、日本のアジア諸国にたいする動き、そのための恐ろしい国内反動は、彼〔啄木〕を混雑したニュアンスに伴われたまま広い意味での社会主義の方へみちびいて行つた。特にこの関係を示すものとしては、この集にはいらなかつた「日本無政府主義者陰謀事件経過及び附帯現象」の一編が注目されねばならぬとわたしは思う。〔後略〕

ことにそれが、『一握の砂』からつぎの作をみずから取りのけねばならなかつたような事情のもとでもあつただけにこのことは記録されるべきであると思う。啄木の削つた作はつぎの八首〔「地図の上朝鮮国にくろぐろと墨をぬりつゝ秋風を聴く」を含む〕である。

〔中略〕「人民のなか」へ行くことが、そもそも何を代償にして禁圧されたかということのそれは記録だつたからである。

- この時期、中野が啄木の朝鮮認識を重視した痕跡はない。
- 1960年ごろより、朝鮮問題に対する啄木の関心に目を向け始める。

#### 啄木の触れたアジア・アフリカと今日のアジア・アフリカ（1961年）

これはフランス、イギリス、ロシアのことだけではありません。われわれの日本についても大きな変化があります。啄木がバルカン、モロッコにふれた二年後の一九一〇年、日本は極めて無道な、人間を侮蔑したやり方で朝鮮を奪い取りました。啄木は、「地図の上朝鮮国にくろぐろと墨をぬりつつ秋風を聴く」と歌いました。その朝鮮が、日本との関係を一九四五年以後にどれほど変化させてきたかもわれわれは自分の目で見ています。たんに朝鮮が独立したというだけでなく、特殊な条件のもとに南北へへだてられて、それがいま再び統一へ向かつて進もうと、事態が発展しているのをわれわれは見ています。

#### 重心の移動の背景

- (1) 1950年代を通じて東南アジア、中東、アフリカで次々に起こった、宗主国からの独立。
- (2) 四月革命による、韓国社会の改革への期待の高まり。

- 中野が社会主義者・啄木の中に、「地図の上に……」に詠われた朝鮮に対する日本の植民地支配への批判的視座を見出したのに伴って、「虎の鉄幹」が視野に入ってくる。

#### 大のここと小のここと（1961年）……朝鮮に対する鉄幹の関わりに言及した最初の文章

私は〔中略〕この一年半の反安保闘争についての批判的意見が、かなり甲高かつたことに或る弱さを見るように思う。甲高いことが直ちに弱さだというのではないが、われわれのたくさん見てきた甲高さには例の日本ロマン派に見られた甲高さに似たようなものがあつた。むしろ「韓国」との関係における与謝野鉄幹の詩のようなところがあつた。実地に仕事をして行く立場、足で道のあるいて行く人びとにたいして、この明星派的なところ、星董派的なところがこれらの甲高さの持っていた現実的な弱さだつたように思うが、どうだろうか。

これ以後、中野は「韓国」との関係における与謝野鉄幹の詩」との訣別に、朝鮮問題に対する啄木の認識の鋭さを見出すにいたる。

- 「石川啄木について」の文章（レジュメ 1-2 ページに引用）

#### 参考：沓掛筆記 巡査の問題（1978年）

日米一米日安保条約のとき、日本の国会でかつての日韓議定書<sup>ぎじょうしよ</sup>関係のことが引きだされ

て大問題になった時のこと、このごろは、一般にはすっかり忘れられた形になっている。

「明治二十八年、安達謙蔵が同志三十数名と共に韓国王宮に乱入して、<sup>びんび</sup>閔妃を暗殺した事件のとき」と杉森久英は書いているが（『食後の雑談』）、いまの読者がどの程度閔妃殺し事件を知っているだろうか。

● 当時における閔妃殺害事件の知名度

戦前戦中……細井肇『女王閔妃』（1931年）などの著作や論文あり

敗戦後：

1950年代初頭……張赫宙と森島守人が論考を発表

1950年代後半……朴慶植・姜在彦『朝鮮の歴史』（1957年）、金達寿『朝鮮』（1958年）が事件に言及

➤ 少なくとも、多少なりとも朝鮮に関心を持つ人々の間では、閔妃殺害事件という歴史的出来事があったことが知られていた。

● 当時における「虎の鉄幹」の知名度

中野が指摘したようにいったん忘却。1950年代後半に改めて問題化。

● 園部裕之編『近代日本人の朝鮮認識に関する研究文献目録』

「大のここと小のここと」（1961年）発表以前に「虎の鉄幹」の文学や政治活動に言及した論考……

■ 朴春日「日本文学における朝鮮像（一）——研究ノート」（『鷄林』1958年11月、鷄林社）

■ 金達寿「日本文学のなかの朝鮮人」（『文学』1959年1月、岩波書店）

「大のここと小のここと」から「石川啄木について」（1968年）発表までに言及した論考……

■ 中野重治・朴春日（報告者）、安藤彦太郎・幼方直吉・小沢有作・楠原利治・後藤直・四方博・旗田巍・藤島宇内・宮田節子（発言者）「シンポジウム 日本における朝鮮研究の蓄積をどう継承するか 第五回 日本文学に現れた朝鮮観」（『朝鮮研究』1962年11月、日本朝鮮研究所）

■ 朴春日「近代日本文学における朝鮮像（一）」（『文化評論』1965年8月、新日本出版社）

➤ 中野は金達寿や朴春日の論考を通じて「虎の鉄幹」の問題性を認識するようになったと推定。

### 3. 「虎の鉄幹」の零<sup>△</sup>困<sup>ー</sup>氣<sup>ド</sup>と「国民感情」

「大のこと小のこと」……中野、「この一年半の反安保闘争についての批判的意見が、かなり甲高かつたことに或る弱さを見るように思う」と述べ、その「弱さ」の根底に、「韓国」との関係における与謝野鉄幹の詩」に通じるものがあることを指摘。

➤ 中野の言う「弱さ」とは何か？ → 中野の「国民感情」に関する論考

#### 国民感情ということ（1960年）①

〔ある新聞の、「アメリカはまる腰の漁夫を収容所へ理由もなくぶち込んだり、頭ごなしに内政干渉したりしない国だと、日本の国民は知っているに違いない」という文章と対比させる形で次の文章が書かれる〕。

いまでも日本とソ連とは漁業問題で交渉をやつてますが、去年、おとしごろからのことですけれども、北海道の漁民がソ連領海へ昆布取りなんかに行つて、逮捕されたり船をおさえられたりしました。そこで問題がもめて、モスクワの門脇大使がソ連政府と話をしました。ずいぶんすつたもんだやつたようでしたが思わしい結果が出ない。こつちの思うようには話が運ばなかつた。そこで最後に、門脇大使がこういうことをソ連政府代表に向つて言っています。〔中略〕

「あなたの国は、勤労者の利益を守るということを国の建てまへとしている。かように私は承知している。それならば、あなたの国につかまつた漁民はわが日本の零細漁民であり、没収された船は貧しい彼等の唯一の財産であるということに、あなたがたの注意を喚起したい、このことを私は厳粛にあなたがたに告げる。」

こう言いました。そこで私は、日本人の感想をいちいち調べたわけではありませんが、日本政府代表が、最後に重々しい調子でこう述べたということが日本の新聞に出て、漁業問題そのものは思わしい解決に行けなかつたにしても、門脇はよくぞ言ってくれた、相手国の国の建てまへということを手にとつて、相手をギユツといわせてくれて溜飲のさがつた思いをしたといつた日本人がある程度あつただろうと思いました。そして私は、これまた国民感情の一つの現われには違いないが、じつはこのへんに、私たちの国民感情の基本的な弱さがあるのだということを思わされました。

#### 国民感情ということ（1960年）②

つまりどうかすると、われわれには、たとえば門脇大使があんなことをいつたときに、よくもいつてくれたとふらつと思つたような気持ちが残つていはいはしないか、奴隷的な態度

に、逆に抵抗の姿勢のようなものを感じていい気持ちになるようなところがありはしないかということなのです。

日本国内では、政府・ジャーナリストなどが、アメリカと違ってソ連や中国、韓国などは、漁業問題や領土問題、安保同盟の批判などを通じて内政干渉し、日本人の国民感情を刺激していると喧伝。

- アメリカと日本は、在日米軍基地に関わる費用や米軍車両が有料道路を走る費用などを日本政府に負担させている関係にある。この現実が「内政干渉」と認識されない状況で、アメリカが日本に「内政干渉」する必要がどこにあるのか。
- この日米関係の現実や、他国民もそれぞれに「国民感情」を有しているという当然の事実を忘れ、ソ連や中国、韓国などはアメリカと違って不当な内政干渉を行っていると憤慨し、「相手国の国の建てまえということを手にとつて、相手をギョツといわせ」る態度こそ、「奴隸的な態度に、逆に抵抗の姿勢のようなものを感じる」心地よさの表出であり、「反安保闘争についての批判的意見」の「甲高さ」の中にあつた「弱さ」。
- このような自民族中心主義的な「国民感情」の原型として中野が見出したのが、「虎の鉄幹」の<sup>△</sup><sub>△</sub>鬱<sup>△</sup><sub>△</sub>気。

- 閔妃殺害事件後、三浦梧楼駐韓公使以下 48 名が広島に召還。鉄幹もその 1 人。

#### 与謝野鉄幹『東西南北』（1896 年）

韓邸に、十月八日の変ありて、未だ二旬ならざるに、諸友多く、官にある者は、帰朝を命ぜられ、民間にある者は、退韓を命ぜらる。余もまた、誤つて累せられむとし、幸に僅にまぬかる。こゝに於て、一時帰朝の意あり、諸友中、広島に護送せらるゝ者と、船を同じうして、仁川を發し、宇品に向ふ。船中無聊、諸友みな、詩酒に托して興を遣る。当時、余また数詩あり、その記憶するものゝ一に云く。

から／＼と、笑ふも世には、憚りぬ。

泣きなばいかに、人の咎めむ。

※犯罪者が置かれた処遇や心境とはほど遠い。

#### 菊池謙譚『近代朝鮮史 下巻』（1937 年）

当時乙未事変に対する日本国民の同情は絶対甚深であつた。彼等被告が宇品埠頭に現はるゝや各地より集合した歓迎者は列をなし、被告一行に甚大なる同情、熱情的歓迎を表し、一時は広島獄事のためその見舞訪問者全市各館に充満し、恰かも凱旋將軍を迎ふるの光景

であつた。

※木村勲によれば、当時の『大阪朝日新聞』の事件関連記事にあたった限り、菊池の回想を裏付ける記事は発見できなかった。

- 〈臥薪嘗胆〉が国民的スローガンになっていた時期。
- 朝鮮政府が日本の影響力を排除するためロシアに接近していた時期。
- 菊池の描写は誇張されたものだったかもしれないが、閔妃殺害事件を「犯罪」と批判的に認識していた日本人がどれほど存在したかは非常に疑わしい。鉄幹も同様。

#### ■ 与謝野鉄幹「小刺客」（1902年）……

日清戦争の講和から2度目の天長節（11月3日）直前の朝鮮を舞台に、「京城の高等小学の学課と、同じ学校の別科で有つた韓語科」とを卒業し、これから領事の勧めで東京の中学に入ろうとしている日本人少年の「山口」を主人公にした短編小説。

ある日、山口は、個人的に英語を教わっている公使館の二等書記官「秋本<sup>しめ</sup>司馬<sup>た</sup>太先生」から唐突に次のように言われる。

君、君はチャンドルクを知つて居るかね。はい、何時かの御話で存じて居ります。未だ年の行かない娘の子だったね。はい、十六でした、死にましたのは二十歳。君、チャンドルクは何故に名高いと思ふ。其は先生、仏蘭西が英吉利西軍に攻められて誠に危かつた時に、自分は仏蘭西を救ふ為の天使だと信じて、仏蘭西国の為に働いて、火刑にまで成りました。先生の突然の質問に、斯う御答すると、先生は僕の顔を、僕の眼を、凝爾と御覧に成つて、では君に問ふが、此朝鮮が今、仏蘭西の彼時の様に、露西亜と云ふ様な外国の軍隊に攻められて、危険な事に成つて、御互日本人も此国から追払はれる様な事に成つたと為て、そして、君を仮にチャンドルクだと為たなら、君、君は其時は如何する、日本のため、朝鮮のために、チャンドルクの様に働かうと思ふかね。何と愉快な先生の御質問ぢや有りませんか。僕は彼日の失礼も、御詫を為る事も、一切何も斯も忘れて了つて、両手を膝の上に置いて、決然御答を為しました。はい、勿論です、先生、私は加之に男子ですもの。斯う申上ると、先生は突如跳上るやうに、御体を前に御乗出に成つて、右の手で僕の右の手を緊かり御握り成さつて、山口君、立派な答弁ですと、併し平生よりも低い低い御声。

山口は、朝鮮政府内の親露派の外務大臣を爆殺するという密命を受け、変装して大臣宅を訪れるが何者かに先に殺される。

- 自分の他に誰がこんなことをするのかと思ひながらも逃げて「先生」に顛末を報告。

➤ 「是で先づ朝鮮に露西亜の砲台も出来ず、露西亜の兵隊も来ず、松田湾にも露西亜の旗が樹たずに済んだ」と山口を褒めたたえる。

● ジャンヌ・ダルクについて

高山一彦……この時代のジャンヌは生身の女性ではなく、「忠君愛国」など若者がモデルとすべき徳目の体现者を意味する記号。ジャンヌに対する鉄幹の考えも通念どおり。

➤ ジャンヌと山口の決定的な違い

◆ ジャンヌが身を投じた百年戦争はイングランドと仏蘭西の戦争で、主にフランスが戦場となった。

◆ 山口の外務大臣爆殺は、日本とロシアの対立を背景としながらも、その舞台は朝鮮。

● 鉄幹は、自分があたかもジャンヌになったつもりで、日本政府の意に反しても事件を執行せねばならないと考えた、あるいは考えたという意味づけを与えた。

● 「虎の鉄幹」時代に詠まれた多数の歌や「小刺客」は、まさにロシアによる「内政干渉」に反発する、日本人の「国民感情」を文学的に表現したもの。

➤ 「詩壇、文壇が捨ててかえりみなかつたとしても、詩壇、文壇をふくんでこれを全体として支配していた政治的日本の現実は」、「虎の鉄幹」の持っていた日本中心主義、植民地主義、国粹論的ナショナリズム」にあった。

● しかし実際には、鉄幹はジャンヌどころか、日本による朝鮮への「内政干渉」の実態を認識できず、朝鮮人にも「国民感情」があることを理解できない、「奴隷的な態度に、逆に抵抗の姿勢のようなものを感じ」た日本人の一人に過ぎない。

#### 4. 「虎の鉄幹」の雰囲気と中野重治——おわりに

中野は特に 70 年代、朝鮮問題を扱ったエッセイを多数発表。

➤ 自分を含めた日本の共産主義者が、民族問題を軽視／無視してきたことへの批判。

#### 緊急順不同 11 三畳以下に住む二千八百世帯（1973 年）

一九二八年の日本で、全く抜け目なく治安維持法と結びあわせにして普通選挙制がしかれることになったとき——この結びあわせにそれ自身の問題があつたが——ここから一般に女がはずされただけでなく、具体的にも原則的にも朝鮮人、台湾人がはずされていた事実、これをどれだけ切実なものとして私たちが肝に銘じてきたらうか。日本共産党が、「日本帝国主義の植民地であつた朝鮮、台湾の解放の旗を敢然と掲げたこと、「日本と朝鮮の労働者は団結せよ」と呼びかけたことは正しかつた。この旗を掲げてこう呼びかけたの

が日本共産党だけだったことも事実だった。しかしそれが日常のたたかひにまで具体的に実現されなかつたことも残念な事実だった。

中野自身の自己批判

#### 「雨の降る品川駅」とそのころ（1975年）

最後の節に、「日本プロレタリアートの後だて前だて」という行がありますが、ここは、「猫背」とはちがうものの、民族エゴイズムのしっぽのようなものを引きずっている感じがぬぐい切れません。

#### わが生涯と文学 楽しみと苦しみ、遊びと勉強（1977年）

仮りに天皇暗殺の類たぐいのことが考えられるとして、なぜ詩のうでで日本人本人にそれを考えさせなかつたか。なぜそれを、国を奪われたほうの朝鮮人の肩に移そうとしたか。そこに私という国を奪った側の日本人がいたということだった。

- 中野は啄木論における重心の移動を通じて、一般の日本人だけでなく共産主義者も、朝鮮や朝鮮人に対して差別や蔑視観を持っている根源に、「虎の鉄幹」の霧あ囲い気どと訣別できていないという問題があると考えた。1902年生まれの中野自身もその例外ではなかった。

#### 国旗（1921年）……中野が朝鮮問題に言及した最初の文学作品（短編小説）

そのうちに突然朝鮮が日本のものになることにきまつた。お房はそんな噂を今まで一度も聞いていながつたので驚いた。そして朝鮮人がかわいそうでもあり、またわけもわからず日本人が浅ましくも思われた。

※日本の韓国併合に対する批判的な態度は明瞭。

- しかし中野もまた、「虎の鉄幹」の霧あ囲い気どを切断し得ていなかった。
- 「雨の降る品川駅」の「日本プロレタリアートの後だて前だて」という表現。
- ◆ 晶子から鉄幹への重心の移動と、それに伴う「虎の鉄幹」の霧あ囲い気どの発見こそ、啄木論を焦点にあてた時にのみ浮かび上がってくる、「中野重治と朝鮮」という問題系の新たな論点。

新民謡『朝鮮八景歌』とそれを取り巻く人たち  
—植民地学術文化史の一断面—

任正嫻(2018. 6. 10)

新民謡とは普通の民謡とは異なり、作詞・作曲家がはっきりとしているもので、とくに1930年代に数多く作られた。在日同胞の結婚式で定番の『ノドル江岸』も新民謡である。

朝鮮の名勝地を歌った『朝鮮八景歌』が世に出たのは1936年で、軽快な曲調と楽天的な歌詞、そしてなによりも「黄昏の湖水」と評された鮮干一扇の歌唱によって大衆の人気を博した

トーマス・エジソンが蓄音機を発明したのは1887年のことであるが、朝鮮でレコードが本格的に普及し始めたのは1920年代以降のことである。コロンビア、ビクター、ポリドールなどのレコード会社が朝鮮に進出、売り上げを伸ばすために朝鮮人作詞・作曲家および歌手を専属として大衆歌謡を数多く送り出した。そのような背景のなかで新しいジャンルとして生まれたのが新民謡であるが、そこにはどのような人たちが関与したのか？そして、解放前はいうにおよばず、現在も人々に親しまれる『朝鮮八景歌』はどのように生まれたのだろうか？さらに、鮮干一扇とはどのような歌手であり、どのような人生を送ったのか？

鮮干一扇を中心に新民謡創作に携わった人たちの活動を明らかにし、あまり知られることのない植民地学術文化史(歌謡史)の一端を垣間見る。



参考文献

- 1) 최창호 『민족수난기의 가요들을 더듬어』 평양출판사(1998)
- 2) 장영철 『조선음악명인전(1)』 윤이상음악연구소(1999)
- 3) 온영수 『작곡가리면상』 평양출판사(2014)

## 住民2世の土地利用にみる在日の周縁的集住地域の存続過程

—京都府A地区を事例に

全 ウンフィ(大阪市立大学都市文化研究センター・研究員)

### 0. 発表者について

- ・韓国出身の留学生、専門分野は地理学：都市の低所得層・不安定層の集住地域に関心。
- ・2008年12月に始めてA地区に訪問し、2009年末から支援団体の活動に参加しながら調査着手

### 1. はじめに：残存から存続へ

- ◇戦前の集住：就業とエスニック・ネットワーク（杉原、1998；河明生、2000；外村、2004ほか）  
住居・就職差別、本国をめぐる情勢（植民地）を背景に都市下層市場へ参入  
⇒空間的にはインナーリング（水内、2005；高野、2009）
- ◇戦後の集住：集住パターンの再編
  - ・産業構造の変化＋本国をめぐる情勢の変化（南北分断→朝鮮戦争→帰国事業）
  - ・集住の都市間移動と都市内移動（郊外化）による空間的パターンの変化（千葉、1987）
  - ・戦後に形成・薄れた集住の要因（持続）については、戦前ほどアクチュアルな分析は多くない。
- ◇研究の意義：植民地主義の残存のみならず、戦後日本社会での適応過程として
  - ・戦後復興後、移民政策不在下の適応戦略かつ在日住民2世（以下、住民2世）の日常空間として
- ◆戦後の集住地域の事例研究として：戦前との連続性が維持されていない地域

### 2. 先行研究と研究方法

#### (1) 戦後の集住地域の再編と社会・経済的特徴

- ◇戦後の空間的パターンの再編：産業構造的再編とリンク
  - ・福本（2004、2014）、山本（2002）...都市内における集住の産業経済的な要因を指摘
  - ・大阪市における報告書（1970年調査）...戦後の集住地域は郊外集中（伊藤、2007から再引用）
- ◇第2次産業⇒サービス金融業（不動産、パチンコなど）への転換：エスニック産業が目立つなか、成功した起業家（韓載香、2010）と特定世代の低賃金不安定層の残存（稲葉ほか、2014）
- ◆後者：職住一体は有効、建設業／回収業の比重が大きい断片的な点在として存続したのではないか

#### (2) 不法占拠地域の知見から

- ・不法占拠地域：ほとんどが戦後形成・大都市周縁部に立地・小規模（李度潤、2010；山本、2013）
- ・事例研究から：京都市B地区（山本）、兵庫県C地区（金菱、2008）、福岡県D地区（島村、2010）など。飯場経営、回収業（リサイクル業）などを主要な産業とする地域  
→総合的な分析／構造外で「生きる」実践に注目。  
→住民の選択や戦略（生きる以上の実践）という面では検討が不十分（社会運動研究とは対照的）

### (3) 研究の方法

- ・「周縁的集住地域」：都市周縁、小規模、エスニック／地場産業より、いわば3K産業が主流
- ・「住民2世」：戦後復興期以後の世代交代（主に1→2世）を経て引き続き「存続」した点に留意
- ・「存続」：土地（物件）の購入は、居住・就業と関わる大きい選択。就業／エスニック資源との関係

## 3. 京都府A地区の社会・経済的背景

### (1) 京都府宇治市における建設業・回収業の現状

- ・国勢調査のデータから（整理中）。現在（2014年）は京都府平均より小規模の建設業事業所が多い。
- ・在日の集住率からすると、京都市を除いて京都府でオールドカマーの集住がみられる地域

### (2) A地区の概要

- ・1943年頃形成された飯場に一部が戦後定着（不法占拠）、1989年に立ち退き裁判と居住権運動
- ・1960～70年代の転入者増加、1960～1980年代に定着（仮住居→住宅建設）、1990年代以後高齢化
- ・世帯主の職業構成：職住一体の自営業のなかでも、建設業と回収業中心
- ・職業的不安定状態と劣悪な住環境において長期に居住が持続
- ・土地／物件：一般と異なった「土地認識」（金基淑、2001）。前近代朝鮮の所有＋賭地権に立脚

## 4. 裁判記録にみる住民2世の定着類型と職業的特徴

### (1) データの概要と世帯主の特徴

#### ◇データの概要

- ・52世帯60人の基本データ（1990年代頭に提出。全体は68世帯）
  - ※裁判の争点：「取得時効」20年が成立するか（運動では戦後補償を主張）
- ・戦時期の労働者世帯（半分以上）＋転入者世帯。
- ・2世の長男・中卒が多く、半分がウトロ／京都市出身。民族学校経験者は7人
- ・職業：建築・土木業事業者／従事者が半分以上、回収業合わせて約7割。半数近く職住一体
- ・土地取得の時期：戦時期が過半数、ほかは戦後復興以後の建設業・回収業関係者

### (2) 土地取得経緯と目的の類型化

#### ◇取得経緯の諸類型

- ①残存：元飯場労働者
- ②相続：親→長男、夫婦間
- ③売買：親戚、職縁、地縁などのエスニックネットワーク＋エスニックな論理
- ④開拓

#### ◇取得理由の諸類型

- ①生業・生業の拡大：建設業と回収業
  - ②結婚と出産による世帯分離：①への転業のきっかけとして
  - ③共同体かつシェルターの機能
  - ④郊外のマイホーム志向
- ◆「生きる」に留まらない実践。リスクではあるが「家族」の向上のため一種の共有地として

## 5. 「存続」の適応戦略—社会的機能に注目して

・資料：世帯主のライフヒストリーデータ（2009年以後から聞き取り）

### (1) 勤勉に働き、家族で働く

- ・2次的就労：ニッチ／エスニック産業を経て建設業、回収業を選択
- ・勤勉な労働／生活態度を受け入れ、家業として発展→資本主義的成功

### (2) 家族を扶養する—就業から世帯分離まで

- ・長男への相続：両家の両親や社会的に脆弱な構成員までを扶養・補助する義務
- ※扶養：高度成長期以後の家族像のみならず、民族的相違として経験

## 6. まとめ

- ・土地取得の意味：生きる実践＋経済的資源および「いかに」生きるかのための道具  
「家」のための実践として、それぞれの家で活用  
エスニック／ニッチ産業への参入が期待できない環境における適応戦略  
社会的に脆弱な構成員の扶助機能  
→必ずしも「民族」や「地域」のつながりの側面とは捉えられない  
→個人への過度な負担

※補足：「知らなかった」という証言の共有をいかに解釈するか  
→裁判における戦略への無理解（あるいは戦略）  
v s 土地問題に関わっている住民全体への尊重

## 【参考文献】

- 伊藤泰郎、2007「朝鮮人の被差別部落への移住過程—広島市の地区を事例として」『部落解放研究』14、47-67頁。
- 稲葉奈々子ほか、2014「1985年国勢調査にみる在日外国人の仕事」『茨城大学人文学部紀要』17、31-50頁。
- 金菱清、2008『生きられた法の社会学—伊丹空港「不法占拠」はなぜ補償されたのか』新曜社。
- 金基淑、2001「チャングの響く街ウトロ—地域社会との共生をめぐる在日韓国・朝鮮人の模索—」『人間学研究』2、1-15頁。
- 島村恭則、2010『“生きる方法”の民俗誌』関西学院大学出版会。
- 杉原達、1998『越境する越境する民—近代大阪の朝鮮人史研究』新幹社。
- 高野昭雄、2009『近代都市の形成と在日朝鮮人』佛教大学研究叢書。
- 千葉立也、1987「在日朝鮮・韓国人の居住分布」（古賀正則編『第三世界をめぐるセグリゲーションの諸問題』一橋大学社会学部）45-84頁。
- 外村大、2004『在日朝鮮人社会の歴史学的研究：形成・構造・変容』緑蔭書房。
- 河明生、2000『韓人日本移民社会経済史—戦前篇』明石書店。
- 韓載香、2010『「在日企業」の産業経済史—その社会的基盤とダイナミズム』名古屋大学出版会。
- 福本拓、2004「1920年代から1950年代初頭の大阪市における在日朝鮮人集住地の変遷」『人文地理』56(3)、42-57頁。
- 水内俊雄、2005「都市インナーリングをめぐる社会地理」（水内俊雄編『シリーズ人文地理学5 空間の社会地理』朝倉書店）23-58頁。
- 李度潤、2010「博士論文・修士論文紹介 日本の都市における外国人集住地区のまちづくりとそのコミュニティに関する研究—オールドカマーズ・在日コリアンを事例にして」『コリアンコミュニティ研究』1、51-58頁。
- 山本俊一郎、2002「神戸ケミカルシューズ産地におけるエスニシティの様態—在日韓国・朝鮮人経営者の社会経済的ネットワーク—」『季刊地理学』54、1-19頁。
- 山本崇紀、2013「在日朝鮮人の居住と共同性—「不法占拠」という地平からの一考察」（松田素二・鄭根埴編『変容する親密圏／公共圏 4 コリアン・ディアスポラと東アジア社会』京都大学学術出版会）207-226頁。
- FUKUMOTO, T. 2014. The Persistence of the Residential Concentration of Koreans in Osaka from 1950 to 1980: Its Relation to Land Transfers and Home-work Relationships. *Japanese Journal of Human Geography*, 65(6), pp15-33.

## 在日コリアン被爆者たちの「南北統一」

### 1. はじめに

### 2. 先行研究

### 3. 移設問題の浮上と拡大

- ・ 1970 年に韓国人原爆犠牲者慰霊碑の平和公園外への建立
- ・ 1980 年代に公園外建立は「差別」との批判が拡大
- ・ 1990 年 6 月に日本人識者の「八人委員会」発足、「統一碑」にした上での公園内移設検討
- ・ 市（八人委員会）、民団、総連による三者協議開始

### 4. 民団・総連の「統一碑」模索

- ・ 1992 年 7 月まで民団・総連の「統一碑」の模索
- ・ 一番の争点は碑の名称
- ・ すべてのコリアン被爆者を弔いたいとの思いは共通
- ・ 《上位（共通）アイデンティティ ⇔ 集団的アイデンティティ》の葛藤

### 5. 建立者代表・張泰熙にとっての慰霊碑

- ・ 民団内の「統一碑」検討会議に参加
- ・ 1990 年 7 月に検討反対の陳情書を市長に提出 → 民団内の混乱と分裂
- ・ 統一碑自体には賛成も、現行碑改修による統一碑に反対
- ・ 根底には自分を「韓国人」にしてくれた慰霊碑へのフェティシズム
- ・ 個人的アイデンティティ > 民団団員としての社会的アイデンティティ

### 6. 平岡市長の「英断」と慰霊碑の現状移設

- ・ 組織の論理によりかすんだ死者を弔うという本来の目的
- ・ 建立者の意思を尊重し「私碑」としての扱い
- ・ 「統一碑」に向けた協議継続を条件

## 7. 三者交渉の再開

- ・ 90年代の三者協議との違い
- ・ 90年代の経験を踏まえた「統一碑」模索

## 8. むすび

- ・ 共通アイデンティティ v. 集団的アイデンティティ (民団・総連)
- ・ 個人的アイデンティティ v. 社会的アイデンティティ (張)
- ・ 今後統一碑を実現させるのであれば、多層のアイデンティティをまとめることがカギ
- ・ フェティシズムに陥らず、全てのコリアン被爆者の追悼という本来の目的を見失わない

### ◇慰霊碑移設問題・年表

1967年9月14日	広島市平和記念施設運営協議会が広島市に答申提出
1970年4月10日	韓国人原爆犠牲者慰霊碑除幕式
1980年代	広島内外から慰霊碑が公園外に建立されていることは差別の象徴とだとして、公園内の移設を求める声上がる
1990年6月14日	日本人識者による「八人委員会」発足、民団・総連との三者協議始まる
6月27日	「八人委員会」委員1名が辞任。これにより「八人委員会」は“自然消滅”し、 <u>☆三者協議は市・民団・総連</u> の間で行われるように
7月10日	<u>☆建立者代表の張泰熙</u> が改修統一碑に反対し荒木市長に陳情書提出
1991年2月23日	平岡敬が広島市長に就任
1992年7月11日	「韓国人」「朝鮮人」縦書き並列案に市、民団、総連の三者が合意 (詳細について合意できず三者協議は頓挫。張は市民団体らと共に反対運動継続。移設議論自体が暗礁に乗り上げる)
1998年12月24日	平岡市長が記者会見。慰霊碑の現状移設を発表
1999年7月21日	慰霊碑の公園内への移設が完了 <u>(☆水面下での三者協議)</u>
2001年4月14日	市、民団、総連が「統一碑」建立の確認書に署名

<参考文献等>

- 「いま平和公園のあり方を問うシンポジウム」実行委員会（1990）『「いま平和公園のあり方を問うシンポジウム」資料集』
- 在韓被爆者渡日治療広島委員会（1999）『在韓被爆者渡日治療広島委員会ニュース 29号別冊「在韓被爆者問題パネルディスカッション—忘れられたヒバクチャー—』
- 在韓被爆者問題市民会議（1993）『いまこそ戦後処理を！』第15号
- 在日本大韓民国居留民團広島地方本部慰靈碑建立委員會（1970=2001）『韓国人原爆犠牲者慰靈碑除幕式에 이르는 記録帳』〔韓国人原爆犠牲者慰靈碑除幕式 に 至 る 記録帳〕（復刻版）
- 在日本大韓民国居留民團広島県地方本部（1992）『広報히로시마みんだん』〔広報広島みんだん〕第4号（夏秋合併号）
- 在日本大韓国民団広島県地方本部韓国原爆被害者対策特別委員会（2016）『韓国人原爆被害者70年史資料集』在日本大韓国民団広島県地方本部韓国原爆被害者対策特別委員会
- 張泰熙（1995a）「置き去りにされた韓国人原爆犠牲者慰靈」、被爆者の自分史編集委員会『生きる—被爆者の自分史—』被爆者の自分史編集委員会、5-41頁
- 張泰熙（1995b）『碑はまだ平和公園の外に—韓国人原爆犠牲者慰靈碑建立委員長張泰熙さん講演記録』平和公園のあり方を問う86人委員会主催講演会（1995年10月31日）
- 豊永恵三郎（1993）「『韓国人原爆犠牲者慰靈碑』の平和公園内移設問題」、在韓被爆者問題市民会議『いまこそ戦後処理を！』第15号、2-4頁
- \_\_\_\_\_（1994）「『韓国人原爆犠牲者慰靈碑』の移設について」『広島教育』No. 491、43-63頁
- \_\_\_\_\_（1999）「建立委員会結成から32年『韓国人原爆犠牲者慰靈碑』やっど平和公園内へ」『広島教育』No. 552、3-14頁
- 西井麻里奈（2013）「韓国人原爆犠牲者慰靈碑と「聖地」の論理—「聖地ヒロシマ」をめぐる一考察」『日本学報』第32号、67-86頁
- 碑の会（「全国在日朝鮮人教育研究協議会・広島」有志およびピカ資料研究所）（1989）『資料・韓国人原爆犠牲者慰靈碑』
- 平和公園のありかたを問う86人委員会（1990）『平和公園のありかたを問う！ 会報第1号』
- 松田素二（2009）「平和のフェティシズム考—文化的フェティシズムの新たな地平」、田中雅一／編『フェティシズム論の系譜と展望』京都大学学術出版会、241-273頁
- Yoneyama, Lisa (1999), *Hiroshima Traces: Time, Space, and the Dialectics of Memory*, Berkeley, CA: University of California Press. [英語]

<新聞>

中国新聞

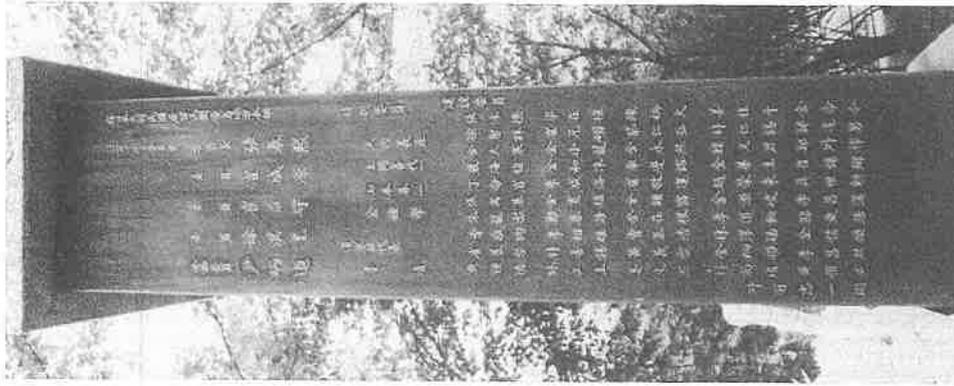
上記のほか、民団、総連、広島市、市民団体の当時の関係者にインタビューを行い、また内部資料の提供を受けた。

正面

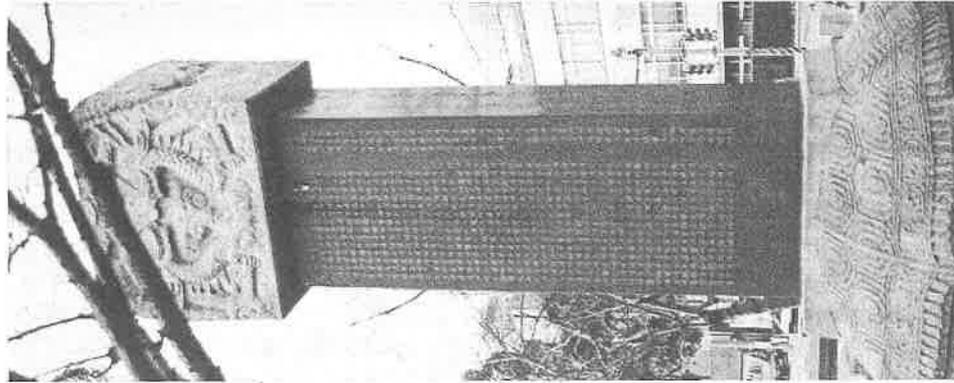


韓國人原爆犠牲者慰靈碑  
李錫公殿下外武高條題詞

右側面



背面



左側面



大韓民國國會議長李孝律閣下標題揮毫

한글學會理事 서울대학교教授韓甲洙韓銘撰書韓正植刻字

THE MONUMENT  
IN MEMORY OF THE KOREAN VICTIMS  
OF A BOMB

出典：碑心文（韓文）『資料・韓國人原爆犠牲者慰靈碑』

傳 右 側 面

在日五大韓民團體臨時地方本部

臨時總務委員會 委員長 張泰熙 委員 崔成燮 委員 崔益守 委員 徐漢光 企圖書寫 尹炳道 特別委員 大內 孫 土國替代 一 山本 孫一 金 孫 牛 專家擔任 李 誠	建議委員 張 泳 德 徐 聖 益 金 大 寒 丁 命 若 趙 禹 基 朱 龍 出 曹 成 均 崔 基 台 魚 健 德 梁 在 植 崔 元 碩 金 小 龍 金 和 泳 李 成 海 金 夏 樞 鄭 至 浩	李 相 謙 朴 賢 錫 林 七 圭 羅 炳 大 梁 仁 弘 金 永 熙 崔 敬 運 金 鍾 壽 金 在 根 梁 秉 雲 梁 文 熙 姜 桂 下 朴 仁 錫 金 鉉 又 金 省 圭	趙 宗 采 金 源 燮 李 道 勳 江 存 福 金 炯 順 朴 尚 培 金 命 令 鄭 述 男 鄭 外 謙 崔 錫 鄭 梁 世 勳 李 昌 孫 鄭 東 浩 金 博 賢 李 昌 熙 梁 博 必 外 台 志 河
---	--	---	---

惡 惡 傳 文

惡久所歷史書子고우리 倭寇民族은합리것을을내지않았고다른기때를高치어후지않았읍니다. 그래서남보라민지 제고일보다살살전카살스리은酌酌(惡)였읍니다. 그러나고고越한가카를어제어시그들의獲圖로명피악아非獲이 他院로와지고民史이不安에會坐졌던일이許參졌읍니다. 그獲과高首大陷의子弟을秀花로보내아했민展스리은이 야기와수많은美貌의處女를處女로바송아왔고州團의야기가그리했고고우리의위급이慨望에무도을공의아했건 松院空院의이야기가그러함니다. 그러나五下年기나진民族史을해해시어거모신二栗餘位와生院이김도진것같 은승부고惡情한것을일피기였것읍니다. 倭寇民族이나라있는슬공을호메피지케했것이바로太平洋戰爭을請리져 였고 7中에서고고비들이본것이바로總樓校下의悲劇이였읍니다. 나라있는고深이기에남포會社를가조總樓에위 總다였년李鶴公殿下를미찾아어名分을고는바우며名分의의속을의마당으로何해하였던同胞人들정어와났을을고 바초같이부림을받던同胞用者들淑西名산을찾아어기모든同胞男女들. 아말도耶會五萬은타리하고민어지 스가이을群像등그들이廣島市民과廣島縣의바지러가想을을아하년. 九四五年八月六日人類大의族轉이여 지에법이졌읍니다. 倭寇한岡光이민해하스轉岡阿鼻叫喚로드것은修權修으로北하고말았읍니다. 日本國民에對미킨 이드人인族轉是轉國民이라고해서조로大하지는않았읍니다. 이權創으로齊한生命을김인李鶴公殿下外의 無善한同胞二萬餘位고인이었은지一千百五五에야리轉의의신포도바만하지못한서法符은로미되었으니우의의 惡부추을크겠읍니다. 이베못있은同胞一一同가張泰熙建立의要員로을可못함日本人有志者사함의精氣 의產品으로피못게나마어기에依支인: 魂魂의시실공무나천러게되었읍니다. 비을진二二萬餘位의魂魂에지부브 드惡恨과悲惡痛다것으지고고인어平安히서시을소지알므로는어미한悲劇의죄를부러드름도아를받는품도있게하서 그獲圖의罪을犯하스品도獲圖의손은을안는品도있게하서미민나의죄가어은이호이권어집어시로두우미罪罰하게 밧수있두우로상머(惡)지읍소서. 平和를사랑하고侵略과檢察을미어하는모든人類는어게모신漢語의精粹를다유집 이속지러어永傳의心 頂福을發心으로發것입니다. 同胞이도기모사행어언제까지나어位位와함게發것입니다.

許 執 限 書    韓 甲 殊

# 韓国人原爆犠牲者慰霊碑

(移設前)

(移設後)

原爆ドーム

本川橋

本川

原爆死没者慰霊碑

平和記念公園

元安川



# 石綿被害者と在日同胞労働者

## —大阪府泉南市—

姜健栄、大同クリニック

最近、原一男監督の映画「ニッポン国 VS 泉南石綿村」が話題を呼んでいる。朝日新聞にも 2018 年だけで三度も石綿被害者や裁判闘争に関する記事が掲載されている。この映画に現れる在日同胞は約 6 人であった。

筆者はかつて、大阪府南部に位置する泉南市に近い堺市の国立近畿中央病院に 8 年間勤務した経歴があり、当時、ここは日本全国で石綿肺患者を最も多く診療していた国立病院であった。瀬良好澄院長を中心に、筆者も院長の指示のもとで、結核患者以外に石綿肺患者の外来や入院を一部担当していた。そして「石綿肺に合併した胸膜中皮腫の 1 例」を医学誌に発表した。この症例が日本での第 1 例となった。

泉南市へは、筆者は何度も往診に行き、約 65 箇所もある泉南市の石綿工場へ調査に出かけた。ことに私の入院患者でもあった在日同胞老人の家に往診に行き、診療を行っていた。

当時の石綿肺の専門医として体験したことや泉南村石綿工場には在日同胞が多かったこと、さらに「石綿肺と悪性腫瘍合併」についても皆様に報告したいと思う。

石綿が発癌性の有害粉じんであることを、全社会に知れ渡ったのは、2005 年 6 月 29 日のマスコミによる「クボタ騒動」以来である。尼崎の大手石綿製造工場「クボタ」が、自社で働いていた従業員や退職者 79 人が石綿が原因で肺癌や中皮腫で死亡したことを新聞紙上で公表した。大阪泉南地域に石綿産業が創業されたのは 1870 年代であり、有余 137 年が経過した。しかし、今、大阪泉南の石綿企業は 2005 年を持って最後の 1 社が廃業した。今回は 2008 年~2010 年度の石綿による癌発生数と住民による国家賠償訴訟裁判の結果などについて調査を行った。

### 1) 石綿の用途

石綿は、耐熱、耐圧、絶縁性、耐酸および紡績性の特徴を融資、石綿スレートおよび保温材などの防火用材、絶縁体、充填材、建材などとして用いられた。また自動車のブレーキライニング、クラッチフェシングなど約 3000 種類におよぶ広範な用途がある。

### 2) 石綿による疾患

石綿の吸引による肺は「びまん性繊維増殖」をきたして石綿肺となる。その特徴は間質性肺炎としてレントゲンやCTで確認できる。職業上アスベスト粉じんを 10 年以上吸入した労働者に起こるとされる。潜伏期間は 15~20 年といわれ、石綿曝露をやめた後でも進行する。他のじん肺（アルミ肺を除く）と異なり石綿肺は肺の変化の多くが両中下肺野に現われる。

臨床症状として初期はほとんど症状がない。進展すると呼吸困難、咳嗽、心悸亢進、胸痛、体重減少などが起こり、重症になると太鼓バチ状指、チアノーゼなどを認める。一般にX線像で異常が軽度であるにも拘らず、肺機能の異常を認める者が多い点も珪肺等と趣を異にする。

悪性中皮腫は石綿曝露の指標となる腫瘍（Signal Tumor）といわれる。中皮腫の発生は石綿肺と異なり、少量の低濃度曝露でも約30年後に発生する。石綿曝露歴があり、原因不明の胸水や頑固な胸痛、胸部X線写真に胸水貯留の異常陰影を見たら、膿胸以外に中皮腫を疑うべきである。

2010年度の中皮腫死亡数は1,209人（男1014、女195）で、都道府県別では兵庫県が最多で122人、大阪府121人、東京都101人、神奈川県82、福岡県63人となっている。2010年度の中皮腫死亡数は、2009年度の中皮腫死亡数1,156人より53人多い。

2010年度の石綿による全国の労災請求数は1,142件（前年度1,174件）となっている。前年度との比較では、32件減少（2.8%減）となった。このうち、肺癌が509件（前年度540件）、中皮腫が552件（同571件）。前年度との比較では肺癌が31件の減少、中皮腫が19件の減少となっている。

次に、2010年度の決定件数をみると全体で994件（前年度1,071）と77件（7.7%減）の減少となっている。肺癌と中皮腫の別では、肺癌が495件（業務上認424件）、中皮腫が527件（同498件）となっている。

2006年度の肺癌・中皮腫認定件数が最も多く、2007年度は減少したが、2008年度には増加し、2010年度にはやや減少している。しかし、2006年から5年連続で毎年1,000件を超えている。（表1. 省略）

1970年代前半、大阪府泉南地方には石綿紡織工場が65社が操業し、隣接の阪南市を入れると石綿労働者は約2,000人に達していた。当時、筆者が勤務していた堺市、国立近畿中央病院に入院した石綿肺患者は石綿粉塵を大量吸入し、重症の肺線維症を起して、呼吸不全で死亡した患者が多かった。

2005年2月調査で、大阪府下で特定粉塵（石綿）届出工場（廃業・使用中止を除く）は14社に減り、阪南市4、大阪市3、泉南市1、等となっていたが、泉南市の1社も2年前に廃業した。（大阪府環境指導室発表）

### 3. じん肺症例の肺癌および中皮腫合併率

石綿肺患者の肺癌合併率は国立近畿中央病院の症例（1955～1988.12）では、じん肺1,274例中、石綿肺208例の肺癌合併率19.2%（40例）であるのに対し、珪肺880例は9.8%（86例）であった。石綿肺癌40例の中には悪性中皮腫3例が含まれている。1970-80年代の当時はまだ中皮腫が多くなかった。しかしその後、同病院のデータは次の通りである。

近畿中央胸部疾患センター（旧国立近畿中央病院）のデータによると（表2）、2000～2011年の中皮腫は88例で、いずれも胸膜中皮腫。年齢43～86歳、男79名、女9名。2006年～2009年の中皮腫13例（67～83歳）に対し、2010年～2011年（表3.）の中皮腫4例（60～70歳）は少ない。（林清二院長提供）

表 2 最近の中皮腫症例 (2000～2011年)

中皮腫	88例	胸膜中皮腫	88例、	腹膜中皮腫	0例
年齢および性別		43～86歳	男79名、		
		女	9名		
病理組織型	上皮型 22例、肉腫型 9例				
		両相	27例、	分別	他
		不能	23例		
アスベスト職歴	取り扱い職歴	20人 (22.7%)			
	他の粉じん吸入歴	11人 (12.5%)			
	職歴なし不明	30人(34.1%)			
			不詳	27人 (30.7%)	

近畿中央胸部疾患センター  
(旧国立近畿中央病院)

#### 4. 胸膜中皮腫症例と歯科検査技師の石綿肺

##### 症例 1. 胸膜中皮腫

65歳男性 断熱材加工の経営者

職業歴 : 白石綿 20年、青石綿 4年、白石綿およびガラス繊維 5年と約 29年間各種石綿粉じんに曝露された。1972年5月入院、1972年7月死亡。

肺機能検査 : %FVC 61.5%、1秒率 74.1%と拘束性換気障害の像を示した。

胸部X線所見 : 右上中野にかけて縦隔に接して 6X4cm大、右中野外側壁に近く 2.5cm大の均等な陰影を認める。部検により腫瘍組織は多様性の胸膜中皮腫と診断された。本症例は本邦第1例の胸膜中皮腫であった。

##### 症例 2. 胸膜中皮腫

77歳男性、コンクリート製水道管製造に勤務、兵庫県クボタ鉄鋼恩加島工場胸膜中皮腫と診断され、2005年9月7日、近畿中央胸部疾患センターで死亡。

CTガイド下生検 : leiomyosarcoma

同標本の免疫染色 : mesothelioma, sarcomatoid type

Tumor Marker 値:

2005.6.20. CEA 7.4, CYFRA 9.5

2005.7.13. CEA 9.4, CYFRA 58.8

近畿中央胸部疾患センター林院長提供

(旧国立近畿中央病院)

### 症例 3. 胸膜中皮腫

73 歳 男性、建設業

2006 年 2 月、胸痛を訴えて来院、胸部 X 線写真で右胸水を指摘された。胸部疾患  
病院で胸膜生検を行い、血性胸水あり、悪性胸膜中皮腫と診断された。2006 年 10 月初旬に死亡。

職業歴 : 15 歳から建設現場の作業に従事し、同環境の下で 60 歳頃まで働いた建設会社経  
営者。SPO<sub>2</sub> 90~95%、在宅酸素療法実施。

腫瘍マーカー : CEA 0.9 ng/ml (正常 5.0 以下)、TPA 520 ng/L (70 以下)、NSE 19.9 ng/L  
(10.0 以下)、シフラー-21-1 35.4 ng/L (2.8 以下)。CEA は正常値以下で腫瘍  
マーカーはいずれも高値を示した。SPO<sub>2</sub> 95%、拘束性換気障害、石綿肺 II 型。

### 症例 4. 歯科技工士

石綿肺、気管支喘息、肺気腫による COPD

男 76 歳、

職歴 : 35 年間 歯科技工士

タバコ 20 本/日、(20~45 歳)

太鼓ばち状指 (Clubbed Finger)

肺機能検査 :

FVC 2.27 L 72%

FEV<sub>1</sub> 0.8 L 38%

Index 25.6%、混合型 (Combined) 肺機能障害

1990 年代の歯科技工士たちは、過酷で低賃金の労働環境に置かれていた。劣悪な設備で、プラ  
スチックや金属粉塵、石綿、焼燃ガスを長年吸引するため、肺疾患が非常に多く、肺癌も一般より多  
いことがわかった、肺 X 線画像で珪肺と石綿肺所見を示し、じん肺 4 型の症例もある。本例も胸  
部 X 線写真で石綿肺と珪肺の所見を示した。

## 5. 泉南訴訟による国家賠償裁判

2006 年 5 月、大阪府泉南地域の石綿紡績工場の元労働者や周辺住民ら 29 人が、弁護士を立てて石  
綿肺や肺癌などになったのは、国が石綿の規制を怠ったのが原因だとして、国に計 9 億 4000 万円の  
賠償を求めた訴訟を起こした。2010 年 5 月 19 日、大阪地裁は国の不作為を認定し、26 人へ総額 4  
億 3500 万円の賠償を認めた判決を下した。勝訴したのは 26 人で賠償額は 1 人あたり約 440 万~  
680 万円であった。29 人のうち「近隣暴露」の被害者としての周辺住民 3 人は除外された。

しかし、泉南石綿訴訟に対し、国の「不作為責任」を認めた大阪地裁の判決を政府は 2010 年 6 月  
1 日、不服として控訴している。泉南市にある市民の会代表は柚岡一禎氏である。

泉南の石綿訴訟の原告・弁護団は早期解決を求める要望書を当時の首相に送った。

## 6. 石綿被害の救済

石綿工場で働いて石綿疾患になった場合、労災保険法に基づき、休業補償や医療費などが給付される。死亡した場合、遺族年金も出る、2006年3月施行の石綿救済法では医療費と療養手当（月給10万円）、死亡した場合、遺族に葬祭料（約20万円）が給付される。対象疾患は中皮腫と肺癌のみで、石綿肺等や工場の周辺住民は対象外である。一方、中央環境審議会は2010年5月、重症の石綿とびまん性胸膜肥厚も対象に加えるよう政府に答申した。そこで2010年7月より重症の石綿肺とびまん性胸膜肥厚が石綿救済法に追加されることになった。表6.には石綿被害補償と救済制度の法成立を示した。石綿新法の改正が2012年3月27日までであったが、さらに2022年3月7日まで延期された。

表3. 日本の石綿被害補償と救済

労災補償と救済	
法律施行例	1998年2月9日
法改正	2008年6月
石綿救済法（石綿新法）と救済	
救済法律	2006年3月27日
新法改正案	2008年5月29日
新法改正	2012年3月27日まで
改正石綿健康被害救済法	2011年8月30日
更に延期	2022年3月27日まで

## 7. 石綿病変2割が発見される

環境省は2010年7月5日、2006~2009年に石綿工場周辺住民を調査し、工場の周辺に住み、工場で働いたことのない人々のうち約2割（352人／1669人）に「胸膜プラーク」が見つかったと公表した。調査対象は大阪府泉南地域、兵庫県尼崎市、横浜市鶴見区など全国7地域である。今回は希望者3648人に検診を行ったが、環境省は今年度からこの7地域で新たに8800人を5年間追跡調査する考えだという。（表4）

表 4. 周辺住民の石綿病変検診 (2006~2009 年)

対象者	調査地域
3648 人	大阪府泉南地域、兵庫県尼崎市、横浜市鶴見区ほか全国 7 地域
1669 人 (石綿工場で働かず) 胸膜プラークの陽性率	21.1% (352 人/1669 人)

環境省、2010.7.5. 公表

## 8、今後の予測

石綿による健康被害は拡大しつつあり、肺癌と中皮腫の労災認定数が、2000 年前後は年 40~50 件だったのが、2006 年度以降は 1000 件以上になった。一時減少したように思えたが 2008 年度は 1063 件と増加した。2004 年に石綿の使用禁止となったが、石綿は今も各地のビルや学校などに残っている。2010 年 4 月には学校建物での石綿被害が初めて明らかになった。2002 年に中皮腫で死亡した教諭 (当時 56 歳) が体育館の天井に吹き付けられた石綿が原因として公務災害と認められた。石綿対策が不十分な船舶修理工場で働かされ中皮腫になった大阪市の元作業員が造船会社に 3300 万円の損害賠償を求める訴訟を大阪地裁に起こして係争中である。

石綿関連疾病は潜伏期間が長く、平均して中皮腫は 40 年、肺癌 30 年、石綿肺は 10 年とされる。日本国内で使用される石綿は全量が輸入で、そのピークは 1970 年の 35 万 t であり、この状態が 1989 年まで続いた。

将来の予測では中皮腫による死者数は 2020 年前後まで増え続け、2030 年頃には 2008 年の 5 倍に近い 4500 人になると推定されている。韓国の Peak は 2045 年頃である。韓国忠清南道洪城郡には日帝時代からの石綿鉱山がある。2030 年頃から米国や豪州のように中皮腫は減少していくと予測されている。(表 5.)

ある国会議員は東京、横浜両地裁で係争中の「首都圏アスベスト集団訴訟」などをあげ、「国の敗訴が続けば、救済を求める声はさらに広がり、その補償額は想像もつかなくなる」と政治解決の難しさを指摘している。

石綿を原因とする肺癌も、喫煙などと区別が付きにくい。肺癌の労災認定者は中皮腫より少ないが、実際は認定数の 2 倍以上の患者がいると推定されている。肺の X 線画像だけで診断が難しい場合、約 5g の肺組織を採取して検査するが、それ自体が体への大きな負担となり検査を見送られ、原因が未確認のまま死亡する患者も多い。また、時には、特発性肺線維症(IPF)と石綿肺との鑑別が困難な場合がある。今後、腫瘍マーカーをはじめ、簡便でより正確な診断法が求められるが、最近順天堂大学で中皮腫発生前に血液で診断する方法が報告されている。

表 5. 石綿産業と中皮腫発生の Peak 予想

	石綿産業 の成長期	石綿産業 の Peak	中皮腫発生 の上昇期	石綿使用 禁止	中皮腫 の Peak
日本	1960's	1974	2000's	2004	2030
韓国	1970's	1990's	2010's	2009	2045
豪州	1970's	1970-1979	1970-1985	2003	2020
米国	1960's	1950-1973	1980's	1986	1993'

(2018. 5. 16.)

# 朝鮮半島の民俗芸能と 在日コリアン

## 第一部 民俗芸能の実演と話

映画『アラン岬を越えていくー在日コリアンの音楽』（ダイジェスト版）上映

会長挨拶と趣旨説明

宋明花 [송명화] 氏（西道民謡、伽耶琴ピョンチャン） 鼓手：趙倫子 氏  
安留奈 [안유나] 氏（南道民謡、伽耶琴ピョンチャン） 鼓手：李眞秀 氏  
安聖民 [안성민] 氏（パンソリ） 鼓手：趙倫子 氏

## 第二部 総合討論

司会 高正子 氏（神戸大学）  
コメント 寺田吉孝 氏（国立民族学博物館 学術資源研究開発センター 教授）  
姜信子 氏（作家、表現者）

### 総合討論

寺田吉孝（てらだ・よしたか）

ワシントン大学音楽部（民族音楽学科）博士課程修了。PhD。現在、国立民族学博物館学術資源研究開発センター教授。1980年代より、アジアの伝統音楽と欧米のアジア系移民社会の音楽実践の研究に従事している。著書に『音楽からインド社会を知る一弟子と研究者のはざま』（2016年）、編著書に Music and Society in South Asia: Perspectives from Japan（2008年）、Ethnomusicology and Audiovisual Communication（2016年）などがある。映像音響メディアにも興味をもち、番組の制作を行いながら。音楽研究や伝統音楽の保全・活性化に果たしうる役割を検討している。制作番組に、『大阪のエイサーー思いの交わる場』（2003年）、『怒ー大阪浪速の太鼓集団』（2010年）など。

姜信子（カン・シンジャ）

作家。横浜生まれ。主な著書に『棄郷ノート』（作品社）、『ノレ・ノスタルギーヤ』『ナミイ 八重山のおばあの歌物語』『イリオモテ』（岩波書店）、『はじまれ 犀の角問わず語り』（サウダーブックス+港の人）『生きとし生ける空白の物語』（港の人）『声 千年先に届くほどに』『妄犬日記』『現代説経集』（ぷねうま舎）『さまよい安寿』（せりか書房）など。路傍の声に耳傾けて読む書く歌う旅をする日々。

## ドキュメンタリー映画

### 「アリラン峠を越えてゆくー在日コリアンの音楽」

去る 2014 年 7 月 20 日、国立民族学博物館で研究公演「アリラン峠を越えてゆくー在日コリアン音楽の今」が行われました。「国際伝統音楽学会」に所属する「音楽とマイノリティ」部会の国際シンポジウムが開催されたことがきっかけで行われたこの公演の目的は、言葉にこだわる在日コリアンの「歌い手」たちを招き、音楽を共に体験することから、在日コリアンの体験や歴史に想いを馳せる場をつくることでした。南の民族芸能であるパンソリを継承する安聖民さん、北の民族芸能を継承する金剛山歌劇団のみなさん、そして、在日の思いを歌に託して音楽活動をしている李政美さんが出演し、それぞれの持ち歌を披露、最後にアリランメドレーで共演しました。

このように南北の民族芸能を継承する在日コリアンの歌い手が、同じ舞台に立つということは余り見られないことでした。この舞台では、歌い手たちが心の中にある 38 度線を越え、尊重しあうことで、「声」が重なり響きあい、観る者に強い感動を与えました。公演を企画した私達は、あの時の感動を一時的なものにしたくない、かれらのことをもっと深く知りたいたいと考え、出演者たちを 2 年間取材し、一本の映画をつくりました。

彼女たちの音楽や率直な「語り」を通して、これまでなかなか聞くことができなかった在日コリアンとしてのアイデンティティや民族音楽に対する思いが映画に込められています。

この映画が、多くの研究機関や学校、地域のコミュニティなどで上映され、在日コリアンの思いを理解するきっかけとなることを願っています。

製作：国立民族学博物館

寺田吉孝、高正子

# 宋明花 一西道民謡 ～ソドソリ～

## \* 地域、代表曲 \*

平安北道～ 旧寧辺歌 (クニョンビョンガ)

平安南道～ 龍江キナリ (リョンガンキナリ)

- ・平安南北道ともに愁心歌調 (ソラド、ドラソ) 発祥の地域といわれている

黄海北道～ ナンボンガ

黄海南道～ 夢金浦打鈴 (モングムボタリョン)

- ・念佛調 (ソラレ、レラソ) 発祥の地域といわれている

その他慈江道民謡、京畿道から伝った一部民謡も含まれる

- ・唱夫打鈴、ノレカラッなど

## \* 新民謡とは \*

1930年代以降作られた民謡

朝鮮八景歌、陽山道、ノドゥル川辺、平北寧辺歌など

## \* 節の特徴 \*

- ・雫が流れ落ちる様に美しく優雅で、明るく伸びやかな節が特徴
- ・2度、4度などの音階の規則的な上下への声の揺れ (ロンソン) の合間に多数表れる小さくやわらかい節 (クルリム) が西道民謡の深みと美しさを一層引き立てる
- ・高め、低めといった未分音も情緒をより深いものにしてくれる

## \* 龍江キナリ \*

<キナリ>と<打鈴>で構成されている

- ・キナリ～愁心歌調でゆったりと伸びやかな旋律
- ・打鈴～念佛調で大波をイメージできる力強く躍動的で、高音から低音を激しく移動する旋律

## < 参考資料 >

「朝鮮民族音楽常識1」、「朝鮮民謡1000曲集」、「朝鮮民謡演奏理論」

- \* 平壤の2. 16 芸術教育出版社、文学芸術総合出版社より発行された著書

## 룡강기나리

~기나리~

조개는 잡아 짓저리구

가는 님 모셔 정들여 살자

바람새 좋다구야 돛달지 말구

몽금이포구에 들렀다 가소

~타령~

1. 연분홍저고리 남짓소매

너 입기 좋구 나 보기 좋드라

(\*) 얼씨구 절씨구 지화자 좋구나

2. 래일도 모래도 우리 김매는데

건넌 마을 총각아 김매려 오려마

(\*) 얼씨구 절씨구 지화자 좋구나

3. 한 줌 두 줌 심는 모에

노래소리가 저절로 나누나

(\*) 얼씨구 절씨구 지화자 좋구나

4. 옥토벌 전야에 풍년새 날구

우리네 살림에 웃음꽃 피누나

(\*) 얼씨구 절씨구 지화자 좋구나

【日本語訳】 宋明花

## 龍江キナリ

~키나리~

貝を捕り塩辛にしよう

海のそばであなたと仲良く暮らしたい

良き海風に 帆をかけないで

夢金浦(モングムポ)に一度私に会いに来て

~打鈴~

1. 薄ピンクのチョゴリを着た君が

眩しいくらい素敵だよ

(\*) 오르싱궤 chor싱궤 chfatchya chokkuna

2. 明日もあさっても草取り続くよ

隣村の少年たちよ、草取りにおいてよ

(\*) 오르싱궤 chor싱궤 chfatchya chokkuna

3. 稲の苗を植える少女達の

楽しい歌声に村中が活気づくよ

(\*) 오르싱궤 chor싱궤 chfatchya chokkuna

4. 村には豊年が続く

私たちの暮らしは幸せと喜びに溢れるよ

(\*) 오르싱궤 chor싱궤 chfatchya chokkuna

## 安留奈 一 南道民謡

民謡は世界各国いずれも国民色が色濃く反映されていると思われる。専門家から一般庶民までの間で幅広く作られ、歌われ、伝えられてきた。国や地方の発音、風土、感情、リズム等が、民謡には色濃く鮮明に表われている。

### <朝鮮半島の民謡>

朝鮮半島は大きく8つの道と済州島において、それぞれ地方色豊かな5つの民謡に分けられている。

- ① 京畿民謡 (キョンギミニョ)
- ② 西道民謡 (ソドミニョ)
- ③ 南道民謡 (ナムドミニョ)
- ④ 東部民謡 (ドンブミニョ)
- ⑤ 済州民謡 (チェジュミニョ)



### <南道民謡について>

韓国の南の地方に位置する全羅道と忠清南道の一部、また慶尚南道の一部で作られ歌い継がれてきた民謡である。

南道民謡の代表作には육자배기 (六字ベギ)、새타령 (鳥打令)、진도아리랑 (珍島アリラン) などがある。

明るく軽快な旋律とリズムが特徴の京畿民謡に比べて、六字ベギ調特有の、떠는 목 (揺らす)、긁는 목 (曲げる) が特徴的である。揺らす、曲げるといっても簡単には想像しがたいが、ビブラートの幅を深く揺らし、また高い音から一音もしくは一音半下げる唱法 (창법) が用いられる。西洋音楽の音階を借りるなら、レ、ミ、ソ、ラ、ドの五音階からなりたっているが、主には旋律が上がるときは、ミ、ラ、ド、下がるときはミ、ラ、シ、ドから構成されている事が多い。

미、떠는 음 (揺らす)

라、내는 음 (伸ばす)

도、긁는 음 (曲げる)

## <리듬体系>

朝鮮半島特有のリズムを長短(チャンダン)という。

南道民謡の長短は、パンソリや散調(サンジヨ、朝鮮半島の独奏形式)で用いられる진양조(チニャンジヨ)、중모리(チュンモリ)、중중모리(チュンヂュンモリ)、자진모리(チャジンモリ)などに分類され用いられる。

旋律の特徴としては、前出の六字ベギ調で哀切な旋律や上がり下がりが明確なために逆に力強く感じる部分もある。

## 달맞이 가세

(후렴)

중모리

가세 가세 달맞이 가세

높은 산으로 달맞이 가세

가세 가세 가세 달맞이 가세

1. 달모습을 살펴보니

금년 시절이 좋을씨고

2. 달아 달아 밝은 달아

우주 강산에 비친 달아

3. 일보 이보 다리를 밟아 천리만리 걸어

정월이라 대보름날

일년중에는 으뜸일세

【日本語訳】

## 月見に行こう

(繰り返し)

(チュンモ리)

行こう 行こう 月見に行こう

高い山に月見に行こう

行こう 行こう 月見に行こう

1. 月の姿を良く見ると

今年の季節はいいよね

2. 月よ 月よ 明るい月よ

宇宙の山河を照らす月よ

3. 一歩 二歩 橋を踏み千里万里を歩み

正月だ 十五夜の日

一年中で一番だね

## 진도아리랑

(후렴)

아라아리랑 스리스리랑

아라리가 닐네

아리랑 음음음

아라리가 닐네

(노래)

문경새재는 웬 고갯가

구부야 구부구부

눈물이로구나

(후렴)

【日本語訳】

## 珍島아리랑

(繰り返し)

아리아리랑 스리스리랑

아라리가난네

아리랑 우ム 우ム 우ム

아라리가난네

(歌)

聞慶峠は何という峠なのか

曲がりくねった所々

涙だね

(繰り返し)

## 동백꽃타령

중모리

(후렴)

가세 가세 동백꽃을 따러 가세

1. 십오야 밝은 달이

원 천하에 비쳤을적

우리 벗님은 수줍다고

얼굴을 돌리네

고개를 숙이네

2. 저 멀리 바다에는

아낙네들이 조개를 줍고

우리 고장 물에서는

큰 애기들이 동백을 따네

3. 빨강 동백 따다가는 임 계신 방

꽃아놓고

하얀 동백 따다가는

부모님 방에 꽃아노세

중중머리

1. 가세 가세 동백 따러만 가세

좋네 즐겁네

동백꽃이 보기가 좋네

동백 따러만 가세

2. 동백 따는 큰 애기야

동백만 따지말고

이 총각 마음도 살짝 따다가

오손도손 사랑을 맺세

(후렴)

좋네 즐겁네

동백꽃이 보기가 좋네

동백 따러만 가세

【日本語訳】

## 椿の花のタリョン

(チュンモ리)

繰り返し

行こう 行こう 椿の花を摘みに行こう

1. 十五夜の明るい月が

満天下に照らされた時

友は恥ずかしいと

顔を背ける

うなだれる

2. あの遠い海では

女たちは貝殻を拾い

故郷の地では

娘たちが椿の花を摘む

3. 真っ赤な椿を摘んで あなたの部屋に飾り

白い椿を摘んで

父母の部屋に飾っておくれ

(チュンジュンモ)

1. 行こう 行こう 椿の花を摘みに行こう

いいね 楽しいね

椿の花が綺麗だね

椿を摘みに行こう

2. 椿を摘む娘よ

椿だけ摘まずに

この青年の心も そっと摘んで

仲むつまじく 愛を育みなさい

(繰り返し)

いいね 楽しいね

椿の花が綺麗だね

椿の花を摘みに行こう

3. 선남 선녀 옛적에는 우리 마을 노닐던 곳  
우리들도 즐거히 동백을 따서  
놀아보세  
춤을 추며 놀아보세

4. 동백꽃은 의지가 굳어  
죽지도 않고 사철을 빛네  
동백꽃은 어여쁜 꽃  
자태가 곱고 귀여운 꽃  
세마치  
(후렴)  
가세 가세 가세 가세 어서 가세  
동백을 따러 가

1. 동백 따는 큰 애기야 동백만 따지말고  
이 총각 마음도 살짝쿵 따거라

2. 오손도손 주고 받고 사랑을 맺세  
에헤야 좋고 좋네 동백꽃이 좋네

3. 동백꽃은 어여쁜 꽃  
자태가 곱고  
동백꽃은 의지 굳어 사철을 빛네

3. 善男善女 昔は この村で戯れていた所  
私たちも楽しく椿を摘んで  
遊んでみよう  
舞を舞って遊んでみよう

4. 椿の花は 意志が強く  
枯れることもなく 四季を輝かせる  
椿の花は かわいい花  
姿が綺麗で かわいい花  
(セマチ)  
(繰り返し)  
行こう 行こう 行こう 早く行こう  
椿を摘みに行く

1. 椿を摘む娘よ 椿だけを摘まずに  
この青年の心も こっそり摘みなさい

2. 仲むつまじく 愛を紡ごうよ  
エヘヤ チョッコチョンネ 椿の花がいいね。

3. 椿の花は かわいい花  
姿が美しく  
椿の花は意志が強く 四季を照らすよ

## 安聖民 — パンソリについて

### パンソリとは？

一人の唱者（チャンチャ）が太鼓の伴奏に合わせて歌とせりふ、身振りで物語を語っていく伝統芸能。18世紀末に原型ができた頃には祭りや市の日に村の広場で、パンノルムと呼ばれる大道芸の一つとして演じられるものだった。パンノルムにはパンチュル（綱渡り）、パンクツ（楽器演奏）、パンチュム（踊り）、そしてパンソリ（歌い語り）があり、それぞれが磨きあげた芸で観衆を沸かせた。パンソリはその後、支配層である<sup>キンガ</sup>高班が自宅の庭や座敷に唱者を招くようになり、室内で演じられるようになった。また、語りの内容もヤンバンの嗜好に合わせ、漢詩や故事成語などが多く引用されるようになった。2003年にはその独創性と優秀性が認められ、ユネスコ第2次「人類口伝および無形遺産傑作」に選定された。

### パンソリの起源は

民衆の芸能を蔑視していた朝鮮時代の文人たちがパンソリについて記録することは稀で、また広大（クァンデ）と呼ばれた唱者は賤民階級に属していたため文字を持たず、口伝でのみ技を伝えたため、始まりや起源については断定が難しい。最も古い記録としては、柳振漢（ユヂナン：1711～1791）の漢文詩集『晩華集』に古典演目の一つ「春香歌」の一節が載っているのを挙げるができる。パンソリは口碑叙事詩である口碑巫歌から起こった、綱渡り芸人が歌う古歌から起こったなど、さまざまな説があるが、趙東一教授の「叙事巫歌起源論」が妥当性を有していると考えられる。全羅道の世襲巫の場合、姑から嫁が巫業を受け継ぎ、男性は巫楽の伴奏手（ファレンイ：助巫楽工）をする。だが、彼らは巫楽の伴奏手だけをしては生活が成り立たないので、パンソリの歌い手や伴奏手になったり、曲芸師や綱渡り芸人になったりした。だから、パンソリの歌い手は全羅道の世襲巫の家族から出た者が始まりであり、のちに出身身分や地域が多様化したと考えられるのだ。叙事巫歌もパンソリも、ともにチャン（歌）とアニリ（語り）から成る長編叙事詩であるというスタイルの共通性、全羅道の巫歌の旋律やリズムとパンソリの旋律やリズムに多く見られる音楽的な共通性から考えても、「叙事巫歌起源論」は相当の説得力を持つ論であると言える。

### パンソリの演目は

古典演目として「春香歌」、「沈清歌」、「興甫歌」、「水宮歌」、「赤壁歌」の五つが現存する。19世紀の中頃までは人気の高い演目が12本ほどあったが次第に失われ、19世紀末に申在孝（シンヂェホ）によって脚本化された六つが今も上演されている。同じ演目でも完唱するのに2時間かかる場合もあれば、8時間を要する場合もある。これには“名唱”の存在

が大きく影響している。宋興祿・朴裕全・丁貞烈といった名唱たちは作品に独自の解釈や演出を加え、どんどん内容を増やしていったためだ。現在は古典演目以外にも人々の生活や思いを題材にした創作演目も演じられている。

公演形態としては、一人の唱者が物語を語っていく独唱形態と、登場人物を配役し、ミュージカル仕立てにした唱劇（パンソリオペラ）の形態がある。

### パンソリの流派

パンソリは伝承されてきた系譜によって、音楽的に異なった特徴を持ついくつかの流派に分けられる。これを制チムという。しかし、これはあくまでもパンソリの多様で複雑な音楽的特徴をわかりやすく分類、類型化しようとするものであり、厳密な意味での流派とは概念が違ちがう。

パンソリの制には東便制、西便制、中高制がある。東便制は比較的テンポが速く、歌い方が単純で身振りも少なく、「聞かせるパンソリ」と言われる。反対に、西便制は技巧に優れ、テンポもゆっくりで身振りが多く、「見せるパンソリ」と言われる。パンソリでは制を越えた伝承が許される。例えば、東便制の「水宮歌」を習得した者が西便制の「春香歌」を別の師匠から習うということがあり得るのである。

### パンソリの伴奏は

ソリブツと呼ばれる太鼓ひとつで行われる。パンソリに使われる伝統的なリズムは、チニャンヂョ、チュンモリ、チュンヂュンモリ、チャヂュンモリ、フィモリ、オンモリ、オッチュンモリの7つで、物語の内容にそって、その劇的な状況を伝える重要な役割を担っている。例えば、悲しい場面ではゆっくりとしたチニャンヂョで話が展開され、思っても見なかった人物や想像上の生き物が登場する場面では5拍のオンモリで奇妙な感じを与え、主人公が急いでいる場面では2拍のフィモリで盛り上げるといった具合である。

伴奏は鼓手（コス）と呼ばれる伴奏者が担当する。鼓手は歌い手に息を合わせ、ノリよく物語を展開させる指揮者的な役割を果たしている。その意味で、鼓手が歌の合間に入れる合いの手（チュイムセ）はなくてはならないパンソリの一要素といえる。鼓手は「オルシグ」「チョッタ」「オイッ」「アモン」「クロッチ」など、さまざまな合いの手を物語の内容にそってタイミングよく入れる。また、この合いの手は鼓手ばかりでなく、観客が入れるとなおさらその場の雰囲気が盛り上がる。つまり、パンソリのは場は本来、歌う者と伴奏する者、そして観る（聴く）者が一体となって創られていくものといえる。

## 演目紹介

### 「水宮歌（スグンガ）」

水宮の竜王が原因不明の病にかかった。薬という薬はすべて効かず、医者も唯一地上に住むウサギの肝が効くと言う。竜王は臣下を集め、地上に赴きウサギの肝を持ち帰るよう求めるが、皆それぞれに言い訳をし、行こうとしない。ただ一人名乗り出たのは忠義者のすっぽん、ピョルチュブだった。ピョルチュブはウサギの絵を手に地上に赴く。彼はやっと出会ったウサギを何とか言いぐるめて水宮に連れ帰るが、もともと機転の利くウサギは腹を割かれる寸前に「地上に忘れてきた肝を取ってくる」と竜王をだまして逃げてしまう。逃げたウサギは大喜びするが、人間の仕掛けた罠にかかり食べられそうになる。ここでも人間をうまくだまして逃げるが、今度はワシに捕まってしまう。しかし、これまた機転を利かせて逃げおおせ、事なきを得る。水宮の竜王もピョルチュブがウサギに教えてもらった薬のおかげで全快する。

水宮の竜王が原因不明の病にかかった。医者も唯一地上に住むウサギの肝が薬になると言う。竜王は臣下を集め、地上に赴きウサギの肝を持ち帰るよう求めるが、皆それぞれに言い訳をし、行こうとしない。ただ一人名乗り出たのは忠義者のスッポンだった。スッポンはウサギの絵を手に地上に赴き、やっと出会ったウサギを水宮に連れ帰るが、腹を割かれる寸前、ウサギは「地上に忘れてきた肝を取ってくる」と竜王をだまして逃げてしまう。逃げたウサギは人間やワシに捕まるが、機転を利かせて逃げおおせ、事なきを得る。水宮の竜王もスッポンがウサギに教えてもらった薬のおかげで全快する。

### 「四月の物語」

済州道4. 3事件（1948年4月に南だけの単独選挙に反対して起きた人民抗争で、終結までの間に済州島民の約3万人が犠牲になった）当時、済州島から大阪にはたくさんの島民が渡って来た。異郷であっても4. 3事件の暗い影から逃れることはできなかった。

人々は沈黙した。そして葛藤した。

「私は逃げたのだろうか？」

70年が過ぎた。

私たちは彼らを慰める言葉を持たない。

だから、私たちは彼らを忘れないことにした。

そして、彼らのことを語り伝えることにした。

彼らの物語が私たちの物語になるように。

脚本：趙倫子

作唱：安聖民

## 【資料】

『朝鮮新報』2014.12.19

### 【インタビュー】「希望を詰め込んだ舞台届けたい」／歌手・宋明花さん

今日の金剛山歌劇団のステージを華々しく飾る歌手の宋明花さん(38、在日3世)。彼女にとって、朝鮮の歌、とりわけ民謡を歌うことは、自分のルーツと向き合うものであり、客席を埋め尽くした観客と共に海を隔てた故国の人々と心の交流を深めるものでもある。

愛媛県松山市で幼少期を過ごした宋さんは、幼い頃から歌好きな少女だった。「日本のテレビを観て生活していたのに不思議と朝鮮の歌が好きだった」

両親は車の運転中にいつも朝鮮の名曲を聴いていた。万寿台芸術団やピパダ歌劇団の公演テープだったという。

「チェ・サムスクの歌声が私の歌の根っこの部分にあると思う」と振り返る。

83年、日本各地で大旋風を巻き起こした第2回平壤学生少年芸術団の日本公演は、当時、四国初中に入学したばかりの宋さんにも強烈な印象を与えた。

「当時はウリハッキョの子どもたち全員がチョン・ヘヨンになりきって歌っていた。羨ましい！私も朝鮮で生まれていたら同じ舞台に立てたろうに！などと、大きな夢を描いていた」

平壤学生少年芸術団の公演テープをAB面くまなく聴いて眠るのが日課となった。高学年になりサークル活動がはじまるが、四国初中に声楽部はなく、民族管弦楽部に入部した。「それでもやっぱり歌いたくて」。宋さんは5年生のときに朝鮮の歌が大好きな同級生と後輩たちで「声楽部」を立ち上げる。「音楽の先生が楽器専門だったため歌は自己流だった。ただ歌いたい、歌えるだけで幸せだった」。

広島初中高高級部に進学後、宋さんの才能に目をつけた教員が、朝鮮で音楽大学の通信教育を受けることを勧めてきた。「専攻は、大衆歌謡、クラシック、民謡の3コースから民謡を選んだ。本場で学べるだけに胸が高鳴るのを押さえ切れなかった」と話す。

卒業後は、広島朝鮮歌舞団への入団を考えていた。「私の身近なところにあるのが歌舞団だったから。好きな朝鮮の歌をうたってお客さんに喜んでもらえるなら、そんな仕事がしたいと思っていた」。そんな時、宋さんのもとへ金剛山歌劇団のオーディションの話が舞い込んでくる。「東京へ行くことなど想像もして

いなかった」と宋さんは言う。両親に背中を押され、ついには上京することに。

改めて「歌うこと」について考えてみた。「朝鮮の歌が特に好きだったのは、朝鮮語の響き、日本語にはない独特な響きが私の心を惹きつけていたということに気がついた」と言う。

松山のトンネで育ち、オモニと一緒に土橋の市場へ行くと、1世のハルモニたちが「何言ってるのかわからん言葉」で話していたのを思い出す。「4、5歳の頃、通っていた保育園の子たちと自分が何かが違うということに気づいて…」その違和感は、その後もずっと宋さんの胸の奥でくすぶり続けていた。ピョンコマへの憧れと日本人との間で感じる違和感を思春期の宋さんは、朝鮮の歌をうたうことで消化し、発散していた。いつか「朝鮮の歌を思い切り歌える場所、それが最も心地よい居場所」となった。

95年4月、晴れて金剛山歌劇団に入団し、数々の舞台に立ち、地方を巡演するうちに、19年の歳月はあっという間に過ぎていった。朝鮮での公演、南での公演、出演者や舞台関係者、観客、実行委員らとの触れあいも忘れられない。「劇団が主席の配慮のもと金剛山歌劇団として歩み始めて40年。私が関わったのはそのうち19年だけど、私のような3世、4世の団員たちが、金剛山歌劇団の舞台に立てるのは、1世、2世の努力と公演を待ち望む多くの日本人たちがいたお陰。先代から受け継いだ精神と朝鮮で習得したチュチュ芸術を、日本で生まれウリハッキョで育った私たちの感覚に合わせてさらに発展させていきたい。私たちの未来はこうありたいとの希望を詰め込んだ、そんな舞台を届けたい」と意欲を見せた。そして、10歳の息子を持つ母親としての一面をのぞかせた宋さんは「子どもたちの胸の中に民族の心を育てていくため、芸術の分野で少しでも役に立てたらうれしい」と笑顔を見せた。(金潤順)



가락(カラク)演者  
**安留奈**  
 Interview



夕月花日鳥  
 서월화 일조

韓国伝統芸術  
 世界に生きる

【解説】

本誌第二号の安留民さんへのインタビュー（筆者・安留民  
 インタビュー・パンソリに魅せられて）につづいて、韓国の  
 伝統芸能の世界に生まれる在日アーティストの安留奈さんに  
 取材した。安さんは、調布の在日コミュニティに育ち、建  
 業の朝鮮学校に学ぶなかで民族芸能の土台を育んでいる。  
 その点と同じ韓国の伝統芸能に身を投じた在日アーティス  
 トの中でも異色で、それだからこそその利益もあれば、悩  
 みも深かったことがインタビューからもうかがえる。さら  
 に安さんは、伽倻琴（ガヤクム）や奚琴（ヘクム）といった  
 民族楽器と伝統舞踊、さらにはパンソリなどのソリ（唱）  
 までも、それぞれ韓国で国宝級のスペシャリストたちに学  
 んで伝統芸能を総合的に演出できるアーティストとしても  
 異彩を放っている。安さんの間匠にあたる一級級のアーティ  
 ストが縁つて共演し、安さん自身が演出して昨年二〇一  
 五年（二月）に上演された「夕月花日鳥」は、そうした安  
 さんの技量と思いを最大化した公演であった。以下、こう  
 した安さんのプロフィールを踏まえて、そこに至る経緯と  
 韓国の伝統芸能にかける思いを聞いた。（文京楽）

1 調布の在日コミュニティに育つて

—— 留奈さんは調布の朝鮮人のコミュニティに育つて朝  
 鮮学校を通われたと聞いています。まずは、そういう幼少  
 期の話から聞かせて下さい。

私は、小学校からウリハクキョに通っていて、学校では  
 優等生ではなくて、クラスのカラーや学校が求めるディレ  
 クションにはちよつとついていけない、団体生活が苦手な  
 感じでした。学校ではいろいろと思想的にすり込まれるわ  
 けですが、そのことに違和感をもたずについていける子は  
 エリート、違和感をもつ子は落ちこぼれになるわけですね。  
 私はどちらかというところこぼれで、ただ、だからこそ他  
 のエリートの子たちよりも音楽との関係が密になれたよう  
 な気がします。音楽や舞踊については幸いなことに指導す  
 る先生たちにいい先生が多かった。舞踊は外部から来た先  
 生に月謝を払って習うというシステムがあつて私は、小学  
 校二年くらいから二年間習いました。低学年の頃は、北朝  
 鮮から「ピコンコマ（ピコンヤン学生少年芸術団）」がときど  
 き日本で公演をしていて、「わーすごいな！」と思つていた  
 ことや、調布の朝鮮人のコミュニティ——慶尚道の人たち  
 が多いところで、高句麗の渡来人が住んだ土地柄のようで、  
 この辺りは市にまつわる地名や高句麗にまつわる地名が多

いんですね——ここでの日常がリズム感とか音楽性をつちかううえで大きかった気がします。父が四兄弟で末の叔父が金剛山歌劇団（北朝鮮系の芸術団体で、一九五五年に「在日朝鮮中央芸術団」の名称で創設され、七四年に「金剛山歌劇団」に改称された）のチヤンゴをしていたり、さらに部落で何か不幸なことがあると住民が相談して韓国からムダン（軍樂半島）を呼ぶ、それでクツ（モヘムダンが神や死者の霊を憑依させお告げを行う祭儀をいう）が何日も夜な夜な繰りかえります。オモニは絶対に近づくなというんですが、怖いながらも興味津々でのぞきに行ったら包丁がシューッと飛んできたり、親戚が結婚するときは、何日もチヤンチ（祝意）でチヤンゴやそこらのブリキをたいたいたりでどんちやん騒ぎをする。ジャンガジャンガジャンガとリズムが飛び交うと自然にうきうきする。ムダンの衣装が飛びやかで、怖いという気持ちとともに自分もやってみたい、と思ったりして……それと調布の朝鮮人コミュニティは、総連と民団が相互に乗り入れる感じだったので、たとえば結婚の問題があつて同族同士で相手がなかなか見つからないと韓国からお嫁さんをもらったり、またそのお嫁さんのついでで韓国とつながつたりというのがありました。

—— そういうなかで朝鮮の楽器も学ぶようになったわけですね。

小学校は四年のときにカヤグム、中学・高校の頃はヘグム

をやりました。ヘグムは改良ヘグムで四弦、改良カヤグムは二十一弦のもので、北朝鮮で解放後に改良されたものです。七〇年代には、韓国よりも北朝鮮の方で伝統楽器の改良がすすんでいました。かつての韓国では、ケリコソ（私たちが固有のもの）はそれほど重んじられなかった、民族芸能をしている人に対しては、タンタラ（可憐）、つまり條菜人というか、少し蔑んで見ていたところがあつて、クワシツクをやつていているというと「すごいですね！」と言われたけれど、「私、カヤグム」をやりますという、「あつ、そう」とトーンが落ちる感じでした。

—— 北の場合は、伝統的なものとヨーロッパ的なものを融合するとよく聞きましたけれど。

北の場合は負けず嫌いで、クワシツクのいいところも出来あやうよ、というのを外国にみせたかった、そういう面と、あと、人びとの士気を高めるためにはチンボが速くないと、マリーチのように労働の現場で人を駆り立てるようなのがいいわけですね。ところが朝鮮半島の伝統的なものは、とくに敬調とかつていうのはチニヤンソ（可憐）から始まる、チンというのは忍び（キルダ／真い）というのが語源で、それだけ音楽がゆつくりなんです。ゆつくりだと士気が高まらない。だからそういう伝統的な音楽は、パンソリのようなものもそうですが、なくなっていく。北に行つた伝統芸能の人もいっぱいいましたが、クメンガリ

（可憐、忍）をつくる人とか、そういう人たちはすべて山奥に追いやられてしまふんですね。九〇年代になつてもう一度伝統的な音楽を取り入れようという動きがあつたけれど、その頃には生徒たちがチンボの速い音楽に馴染んでしまつていて、これを受け入れない。コムンゴ（可憐、可憐）だとかも改良したかもしねないけれど定着しませんでした。

—— 安さんもそういう中で育つたということは、韓国の伝統芸能のチンボには違和感を感じていたのですか。パンソリのような伝統芸能などは、元々はあまり縁がなかったんですか。

いや、さつきも聞いていましたが、私は楽器なので、思惟が組み込みようがない、歌謡だったり、民族舞踊にしても結構思惟が入つてたりしますが……。それとパンソリそのものではないけれど、ハルモニが韓国に行つたり来たりしてよくテープを買つてきてくれて、当時私が聞いていた音のパターンは、西洋音楽のドレミファには微妙にあてはまらない音も含まれていて、そういう違和感がむしろ心地よく感じられた……。ともかく、そういうこともあつて私は北のものとか韓国のものとか、カテゴライズして受け止めることはしませんでした。

—— 朝鮮学校を出た後の音楽活動について聞かせてください。

母校の小学校の校長先生が、学校に来て教えてほしいと

お誘いがあつて朝鮮学校で子どもたちに教えていました。その間に北朝鮮にも行つてきました。子どもたちに改良楽器、音楽を教えていたので教壇と研究を兼ねて三回ほど、一回に一ヶ月半くらいずつ行つて、主に技術的なことを学びました。しかし、実際に教える立場になつたときに北朝鮮の音楽も伝統的なチヤンダン（リズム）とは切つても切れない部分もまだ残っていて、それをもう少し組み入れて音楽性を豊かにしたい、という思いがあつたのですが……。当時は、改良楽器愛好家の同好会みたいなのがあつて、そのリーダーがやたら束縛する人であればやつてはいけなこれはやつてはいけな、そのときは私も機嫌だつたからそのまま受け入れたわけですが、次第に疑問が湧いてきて、それでデイスカフション出来ればいいのですが、頭こなしに駄目。彼女は金剛山歌劇団出身の愛好家で、それでかなりの期間悩んだんです。

## II 韓国の伝統音楽との出会い

—— そういう中で韓国の伝統音楽に接するようになるわけですね。

子どもたちに北朝鮮の改良楽器・音楽を教えていて自分なりにいろいろ検索していたわけですが、昔はそれほど情報もないうえに、Y M C Aの文化講座も知らなかった。そ

んなときまたま、向かいの家にお嫁に来たお姉さんが下手なカヤガムをやっている、そのお姉さんにどこで習っているのかを聞くと金順子（キム・スンジャ）先生に踊りとカヤガムを習っているという。当時は韓国の伝統舞踊というトリトルエンジェルくらいしか知らなくて、そのお姉さんに、当時、東大留米で韓国伝統芸能の学院をなさっていた金順子先生を紹介してもらったのがきっかけです。

— それまで北朝鮮的文脈で教育や活動をしていたと聞かされたのですか？

私の方にガードがなかったというか、あの先生は韓国の系列だから行ってはいけないというのはなくて、とにかく意欲がすごく、早く習って早く自信をもつてよりいいものを子どもたちに教えたいという気持ちで先立っていました。

— 韻奈さんは、楽器も舞踊もなさっているのですが、舞踊はこの頃からですか？ だいたい楽器をやると舞踊もやるんですか？

そうではないです。舞踊をやるようになったきっかけは金順子先生だったと思います。私が決めるのを宥めすかしながら「ユナや、音楽する人は踊りも出来なくてはならない」と言われたんですけど、私は小さい頃に舞踊をしていて「私は向いていない」と思ったんですけど、とにかく粘り強く認得をしてくれたんですね。その点は、朝鮮学校で音楽をしてきたということ、なにか学んだというよりも、第六

ような直線的な部分を活かしていければいい、ということが常に頭の中にあるんですよ。まあ、一人の師匠だけに学ぶというのも大切なんですけど、いろんな経験を積んだ師匠にいろいろなことを学びながら、少しずつ豊かになって、そういうなかで私は舞踊と楽器とは外せないというふうに感じるようになったわけです。

— 金順子先生に学んでいた頃は、まだ北朝鮮にも行かれていたのですか？

私の場合、きっかけやタイミングがあつてまた新しいなにかが構築されるわけですが、私が望むと望まざるとにかかわらず、そういうターニングポイントが訪れるわけです。金順子先生のところで学びながら、文芸同（在日本朝鮮文芸音楽家同盟）のリサイタルをしたり学校で教えたりしながら四年ほどたった頃に母が大病をして、看取りと家の家事全般をやるためにいったん自分の活動を全部ストップしたんですね。自ずと活動も整理されて終運とも縁遠くなっていくんですが、そんなときに金順子先生のところに教えにいらしていたカヤガムの先生、琴舞踊（べ、ムソン、本名：朱然恩）先生に出会うんですね。彼女は韓国国立音楽院で活動された後にハワイで韓国伝統芸能の学院のチャーターをされて結婚して、日本に来てご主人の仕事の関係で千葉にいらっしやっただけです。彼女は非常にポジティブに私に接してくれて、あなたの才能を園芸できるように、ソリ

感的なムシナ（木杵、雲振りや気転）だったり、ムンソルミ（正確にはムンソルミは管絃であるが、会話表現でムンソルミが普通で、見よう見まねという意味）だったり、身体で覚えていくことがあつて、先生が、ちよつと何か教えるところのくらしいのことが出来るということを感じてらしたんだと思います。それと、舞踊というのは音楽と密着している。朝鮮半島の伝統芸術、とくに歌、踊りなどは陰陽五行論と結びついていて踊りはとくに下半身は陰、上半身は陽、いろんなことが宇宙とのやりとり、宇宙の空間に放つてまた自分の身体に戻して来る、そういうやりとりと結びついていて、実際はこのことを分からなくやっている人も多いのですが、そういうことが幼い頃から自然に身につけていたもので、その点をキャッチしてもらったんじゃないかと思ひます、いま考えてみると。

— その点は韓国で育つ女とも違うんでしょうね？

全然違うと思います。私が舞踊を習った方で、金順子先生の師匠でもあるんですけども、ソングアヨン先生（故人）という大阪ポドゥル（節）会で指導されていた先生が私に言ったことですが、「おまえは日本生まれ日本育ちだから韓国とは違う、韓国は曲線だ、おまえも直線だ、直線であることを活かしなさい」と言われて、そういう言葉があつたせいか私には劣等感がない。「曲線は曲線で美しいけれど、直線で何が悪い」と思ひて、私しかもっていない

ストとして勉強して活動しなさい、と背中を押してくださったんです。いま思ひは私は純粋でその言葉を信じて私は出来ると思ひ込んで、先生の家に週三回通いました。その頃は十二弦（微調カヤガム）の楽器もなく録音して頭の中で想像して練習してまた行くんですけど、先生が母親のように育ててくださつて、九二年か九三年頃だったと思ひますが、この先生が、韓国の伝統芸能・四葉への扉を開いてくれた人だといえます。この先生から三、四年習いました。彼女からは舞踊、宮廷舞踊や宮廷音楽、微調は二つの流派を学びました。

— それまで器楽の文脈で活動してきた韓国の伝統音楽の中にすんなりと入ることが出来たんですか？

私は先ほど言ひましたが、エリートではなく感覚的に音楽をやつてきた面があつて、韓国の伝統的な教授法で心受口伝というやり方があつて、先生が「カラク（ワンフレーズ）弾くと、そのままカラクをまわって弾く」というやり方で、なんの疑念も様々手にかたずかずに学びました。先生と出会った当初は、まだ北に行つていましたが、簡単な話、そういうところで習つてはいけない、活動してはいけない、という人との関係性が悪くなっていくし、私にとっては何よりも音楽を深めることが大事なので自然に伝統芸能の方にのめり込んでいきました。

### III 師匠たちとの出会い——韓国での修練

——ただその意義を深めて行くためには日本でだけやっていると限界を感じるのでは……。

その辺は葛藤が常にあって、もう少し明面的補強が必要になり悩むんですが、やはりターニングポイントがやってきました。裴舞順先生が静岡に引越されて、それでも一、二年通ったのだけれど、京都に行かれて、いよいよ先生に学ぶことが出来なくなりました。一九九八―一九九九年頃ですが、その頃は、舞踊の活動を活発にしていたんですが、九九年に大きなコンサートがあつて、そこで金茂慶（キンムギョ）ン、ソウル市重要無形文化財第四号（張六角張保所有者）先生に出会いんですね。私は踊りで、金茂慶先生はヘグムで参加されていたのですが、先生が音合わせをしているのを聞いて「この人だ！」と思いました。そのあと二〇〇〇年に日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会の主催で日本復帰十一都市巡回公演があつてこれに私は参加したのですが、金茂慶先生も参加されていて、お話しをする機会があり、私の気持ちをお伝えすると、先生から韓国に一度来なさいと言っていたいただきました。それで私はなんの躊躇いもなく韓国に先生をお訪ねして、先生が長いこと使われていたヘグムをいただいた。ヘグムそのものはかなり

使い込んでいたものですが、とにかくそのお気持ちが嬉しくて、私もヘグムもやらなくては、やらなくてはと思つているときに若い演奏家の李東勳（イ・ドンフン）さん——彼も非常に高い音楽性をもって私の惚れ込んだ音色をもつていた——と出会つて教えてもらふことになりました。ヘグムは難しくてちよつとした挫折を憶えつつですが、二〇〇〇年に韓国立舞踊団にいた人から舞踊の基礎を学びにソウルに留学に行っていたのですが、ヘグムも習ひました。

——そのとき、国籍を変えることになるんですか。国籍を変えるときに周りの反応はどうでした？

北朝鮮に行かなくなつて、何年経しかで英米代と旅費を貯めて楽器をソウルに買いに行くために国籍を変えました。周りに言つて反対されるので何も言わずに行きました。それが九六―九七年の頃ですが、その頃から韓国に何度か行くようになつて、二〇〇〇年に留学して、その後もヘグムを学びに韓国に通ひ、二〇〇二年頃からは金茂慶先生に本格的に学ぶようになり、その後は陳裕林（チン・ユリン）先生に舞踊を習つています。

——ソウルだけではなく全州でも修行を積まれたわけですね。

全州では二年ほど住んで修行しました。師匠を「運ぶ」というと生意気ですが、とにかく惚れたら行かなくては済まない質で、直談判しに行つて門をたたきました。韓国の

伝統芸能の世界はすべてが縦線・横線の世界なので、そういうやり方は、非常に衝突したと思ひますが、全州の姜貞烈（カン・ヂェンヨル）、韓国重要無形文化財第三号（鄭理賢及び侍明張保所有者）先生の門をたたきました。この先生は保守的な、伝統芸能こそこの世界の人なんです、私が行くとびっくりしてその勢いで「ウン、つて言つてくれたものの、やはり教えるのは難しいと言われました。私は三年間、ご挨拶だけに通つたのですが、それでも最後まで、来なさい、とは言つてくれないので「私、来ます」と言つて強引に借物をまとめてありつたけのお金をもつて全州に行きました。行つてはみたものの、そのときは、全州のペスターミナルしか知らなくて住民登録もしていなかつたので先生のお嬢さんが家を探してくれて、そうして全州に住むようになるんですが、住み始めた翌日に全州テサスツブ（テサツ）ノリ（正式には全州大私習ノリ「テサツ」でパンソリ・音楽・能楽など韓国の伝統芸能に技量を競い合う全国的な芸能の祭典）があるのでそこに来なさいと言われて、行つてみたら、私の師匠にあたる人たちがみんないらして金茂慶先生も、舞踊部門と民謡部門の伴奏でいらした。

——全州で修練をつむなかで深まったことは？

音楽でいうと第一言語というのが重要じゃないですか。あらゆる歌について言えますが、例えばイタリア人は母国語の歌がやはり得意で、顔も踏んでいるし、よりダイナミ

ックに伝わる。それと同じように西遊（ソド）民謡（成鏡道平安道、龍南道など朝鮮北部の民謡）とパンソリは違うし、嶺南圏（全羅南道）以外でのパンソリの普及は簡単ではない、嶺南圏（慶尚南道）でパンソリをやつても自然ではない——最近では慶尚道サトウリ（方言）のトウ（はい同し）を活用してアニリ（パンソリで、唱者がソリの合間合間で場面や情景を説明する語りの意味）をする人もいますが——。私にとって第一言語とは言えない嶺南のサトウリで唱おうとすると、乗り越えなければいけない問題が当然あるわけでそれなりに悩みましたけれど、そういう問題は私のみではなくて、あるとき先生が「ソウルの人たちも出来ないから」つて言つてくれたんですよ。私はやはり在日だからという自分でも競があるんじゃないですか、言葉を一一つ、アニリでも一個一個、聞くわけですが、あるときある言葉について、その意味を兄弟子にあたる姉さんに聞いたんですが、「とにかくそのままやればいいよ」つて言うんですね。最初はそれがよく分からなかつたけどアアイナルアンサーはそれなんです。とにかくそのままやればいい。先生も、私が全州に住むようになってからは練習を以外は二四時間一緒に行動しなさい、韓国は四季がはっきりしているのでその四季を身体で感じながら学びなさい、と言う。それほどオープンマインドではない姜貞烈先生が私に鍵を下さつて、「あなたが学院の鍵を開けて、最後に鍵をかけるなさい」と言

つてくれたんですね。それは私に「一番いつばい練習しなさい」という意味なんです。だから毎日、朝六時、七時から必ず学院で練習して、九時になったら先生が勤務されていた全羅北道道立国楽院の研修院で週五日間、朝から晩までレッスンがあるんですが、そこで一日中一緒に座って引いて唱って、それが終わると先生が運動なさるんですが、私も一緒についていて学院について練習して、レッスンは受けられなくても、とにかく四六時中先生と一緒にいて食べるものも同じ、そうやって感覚的な違いを狭めていくという努力は相当しました。それで最初はうわべだけで理解していたものが、徐々に身体の奥深くにまで入ってくるようになっていきました。いつも先生と一緒にいるなかでいろいろな葛藤がありながらも、それは私だけが特別なのではない、在日だからといって特別ではない、だけど私は一人の人間として、特別、ついでに感覚を持つようになりました。そういうことに常に悩みながらも今に至っています。

— その先生は、曲に弟子はとらない人なんですか。

いることはいるんですけど、最初に話しましたが、かなり保守的な人で誰でも受け入れるわけではないので、弟子入りはだいたい断るんですよ。とにかくあまり教えたくない。実際に私がいる間も教えてくれないことが多かったんですよ。私の思いとしてはすべてをストップしてその先生に学ぶために来たのに何で教えてくれないかが分

からない、先生のところで習い始めて三ヶ月くらいすぎで、そのときは喉もつぶれていて、指も三層くらいに水ぶくれ腫ぶくれになっていて弾くのもままならない……。

— 改めてそうなるんですか？

そうなんです。改めてそうなるんです。声もほとんど出なくてスースーとしか出ない。それで先生がカヤグムだけ弾きなさいと言いますが、カヤグムも全部曲だらけだから弾けないんですよ。で先生がその様子を見て「しばらく日本に帰っていなさい」と言いますよ。私、そのときに、自分ではそんなに感情の起伏が激しいタイプじゃないと思ってるんですけど、もう、感情をコントロールできなくなってしまうと、私はすべて断ってあなたに学びに来たのに、一気に突き放されたような気持ちになって……韓国では師匠の前で泣くというのはタブーなんですけど、もうどうしようもないんですよ。曲は出ないんですけど、カヤグムの板の上に涙がほんとほんとこぼれ落ちるから、先生もびつくりして、「どうしたんだ」と言われて、私は必死でほんとんど手話みたいに「先生が教えてくれない」と言ったから「罷れ」って言ったからと辛うじて伝えると、もう怒つちやつて「泣くのは止みなさい」と、で私は少し冷静になって「申し訳ありません」と涙りながら改めて気持ちを伝え直したんですよ。「私は先生に惚れ込んで習いに来た、なのに教えてくれないというのは、私に死になさい

というよりももつと苦痛だ」というと、またカヤグムを膝の上に置いて……。

— 「頼みなさい」というのは、声も指もそういう状態

から、しばらく「休みなさい」という意味で言ったのか、

もう「帰ってこないでいい」くらいの意味だったのか。

いや、喉を休めないといけなから……。

— そのくらいの意味なのに、それでもそう言われるの

は駄目なんだ！

もう、早くどうにかしようという思いが強くて、それと「ソリの道は二〇年」と言われていて、私はその当時でもういい歳になっていたんで、私からすると埋めなければいけないことが余りにも多くて、埋めなくて埋めなくてはどうも損が常にあつて、その頃は先生の授業と同時に個人的にパンソリのレッスンも受けていて、でその先生の手ほどきでいわゆる「喉をつくる」というのを学ばんですが、その先生は、どんなときでも唱えなくてはならない、熱があつても唱えなくてはならない、熱があるので休みたいという、それでも先生は「三〇分休んだらバスに乗るんだよ」とそれだけしか言わない。おでこに冷やヒタをつけてアイスパックを巻いて汗をたくさんかかしてらるんですけど、先生がブク（弓、本鼓）をたたきながら腹の底から声を出して唱って下さるんで、もうひつちやかめつちやかになりながらですよ。で、そのパンソリの先生の教えも

あつていかなる状況でもやらなくてはならない、ということも学んだんで、私はそれから夜中にトイレ行きたくて目が覚めると、ちよつとでも楽器を弾いてまた寝るということをしています。

#### IV 「夕月花日鳥」の世界

— そうい練習をいつまで、最近までですか。

今も韓国に通ってます。一年に多くて三、四回くらい、少なくとも二回、式、期間は短いんですけど、通って勉強しています。

— 最後に今後の活動の方向について聞かせて下さい。

二〇一一年に日本に帰って、湖南カワラの公演をやろうと思つたんですけど、ちょうど震災にぶつかつてしまつて中止せざるを得ませんでした。頭では断り切っているつもりだったんですけど、その後はなかなかコンサートに踏み切れなかつたんですね。いろいろな方々の支えがあつて去年（二〇一五年）二月三日はじめてリサイタルをしました。公演のキヤスティングは楽器一つからすべて私が決めました。それは簡単なようで、キヤスティングに関わるというのは難しいんですね。というのは、すべてのキヤスティングをするためには、一人一人の楽器を熟知している必要があつて、さらにそれをまとめるというのが難しい

— 公演のキヤスティングは、すべて韓国からの人ですか。

留学で来て日本で活動している人も含めてみな韓国からの人で、在日は高麗姫（コウ・ヒョニョ）さんと私だけですね。私が彼女をキヤスティングしたのは、在日としての在り方を示すという意味合いもありますが、基本的には彼女ももっている高い芸術性を求めてキヤスティングしました。私は韓国の伝統芸能をやっているもので、何よりも私なりに盛大にいいものをここ日本でお見せしたい、演じたい、というのが基本です。私にしか出来ない一番いいものを見せたいということです。例えば、「夕月花日鳥」という公演も一見すると「散調をして、踊って、歌唱して、いつもやっつてることじゃないか」って思われるかもしれませんが、そうじゃない。ここに出て来る人たちは、一人一人の芸術性に私が惚れて私が責任をもつて一つの芸術を演じていた左にいて、公演パンフレットの中の作品の説明も私の言葉、日本人や在日には決して親切ではないかもしれないけれど、私なりの言葉で一つ一つ思いを込めて書いているんです。今後もそういうやり方を買きたい、と思っています。

(聞き手、カンザロス 本誌編集委員)

金聖雄 監督作品

自主上映  
しませんか

### 袴田巖 夢の間の世の中

48年ぶりに釈放された袴田巖さん。精神と肉體は創まれ未だ現実と妄想の間を彷徨いつづける。しかしあたりまえの日常を取り戻すことで次第に命が再生されていく。映画は権力の権勢と命の尊厳を鮮やかに照らさる。

### SAYAMA くみえない手錠をはすすまで

獄中30年、釈放後から20年以上の今も、石川一雄さんは現実を叫び続ける。冤罪を強いられた人生を受け止め、「不運だけど、不幸ではない」と、まっすぐ参む夫婦の物語。愛とは？ 幸せとは？ 正義とは？ を考えずにはいられない。

### 空想劇場「若竹ミュージカル物語」

特別支援学校の卒業生が、小さな森の学び舎に集まってゆつくりとミュージカルを創りあげていく。「歌はへた、踊りもいまいち、でもなんだから感動する」不思議な魅力が、いっぱい詰まったミュージカル。

### 花はんめ

歴史に翻弄されながら、日本で生きてきた在日1世のおばあちゃん（はんめ）たち。80歳を過ぎてもようやく手に入れた日常。仲間と一緒に、過きと死に向き合いながら、涙を去りにした青春を取り戻す姿を描いたドキュメンタリー。

Kimoon  
Film

自主上映・映像制作のご相談は Kimoon Film

〒184-0014 東京都小金井市東町 4-8-13-201

TEL:042-316-5567 / FAX:042-316-5882 / info@kimoon.net

歌唱者・安聖民  
インタビュー

魅せられて

聞き手・文京深



清州島から来た彼女のオムゴト一舞の場面  
(出：生野区国学院小学校)

ひと頃、日本でも、寂しい庶民人さながらにパンソリを唱いながら各地を廻り歩く聖子を描いた映画『西便制 (フビョンシエ)』(林權澤監督、一九九三年)が話題になった。主役を演じた呉貞姫の身体から絞り出るような素晴らしい歌に魅入られた観客も少なくなかったであろう。一方でそれは、在日の私たちではとうてい立ち入ることの出来ないような、民族(民衆)芸能の世界を映し出していた。独特の節回しと鍛えられた声で歌い上げられるソリ(言や唱の総称)は、激しい修練がつちかう技術だけではなく、朝鮮社会固有の慣わしや風土、さらには不条理や抑圧に抗する人びとの恨(ヘン)に深く根ざしているようにもみえた。

今回、話を聞いた安聖民さんは、まさにこのパンソリの歌い手(唱手)として最近めきめきと頭角を現しつつある在日二世である。安さんは、漢陽大の大学院の国楽科に学び、重要無形文化財の南海星先生に師事して修練を重ね、今年の一月初級者に認定され、韓国文化庁のお墨付きを得た。在日の二世以下の世代では、おそらくこの難しい芸術にチャレンジし、これをものにしたほど

んど唯一の人であるかもしれない。以下、彼女のパンソリとの出会いに始まり、単身韓国に赴きソリの道を進み始めた経緯、韓国での師匠との出会いと修練、さらにパンソリの魅力や今後の取り組みなどについて聞いた。(文京深)

■ 学生時代——二人のキーパーソン

生野区に生まれた安さんは、小学校から大学までのほとんどの時期を生野区に隣接する平野区で過ごした。小・中・高と公立学校に通い通名を名乗った。「友達の中にも通名でいってる子もいるし、本名でいってる子もいたけど、そのことはまあそれはそれ、いじめられるというよりは、喧嘩強かったり、頭良かったりするのみんな朝鮮人だったので……同姓なかったです。朝鮮人チームと日本人チームに分かれてドッジボールしたりとかね。みんな平気だったんですよ。「あんた何人?」「私、日本人」「私、韓国人」って、それで終わり……」という感じだったという。

大学の入学式に韓文研(韓国学生同盟)の勧誘を受けた。八〇年代前半の全斗煥政権崩壊で、デモとかハンストとか、軍事独裁に反対する在日学生の運動が盛んであった。「び

つくりして、えらいところに関わってしまった」と、身を退くことも考えたが、「(ある)先輩がね、自分が参加できる範囲であればいいやんか。って言うてくれて、で、止めるでもなく、一生懸命やるでもなく、みたいな感じで四年間続きました。その間、「せつかくやから」ということで朝鮮語やタルチユムなどの民族文化の催しに誘ってくれたのが、梁真規さんだった。梁さんはその後建国小学校の教員として民族教育に携わり、大阪での民族文化の取り組みの一角を占めることになる人である。

さらにこの梁真規さんが、二人目のキーパーソン、高正子さんに引き合わせてくれた。高さんは、関西で「マダン劇の会」や「民族文化研究会」などを通して民族文化運動に取り組み、自宅を開放してボランティアで韓国語を教えたりしていた。安さんは、朝鮮語をさらに磨くために高さんの元に通うようになっていたが、「そのうちに、「マダン劇の会」でこんなことやってるけど、見に来ない？」って言われて、行ってみたら、タルチユム(巫曲の踊り)とか踊ってはつてね。見てても面白くないからやれ、と言われて……。やってるうちに、楽しいのでどんどんそれにはまっていた……」。

その頃の関西での民族文化運動は、「京都の梁真規先生を中心に、(民族文化に携わる)在日の人がたくさんいるので、「マダン劇の会」の中の誰かが韓国に習いに行つて来

て、その人が帰ってきてみんなに教えるという感じでした。政治情勢もあって、そんなに今みたいにすぐ韓国の人に来てたり、あるいは習いに行くということが、ちよつと気を付けられないといけない状況だった。そんななかでふれるようになったパンソリ。「初めて耳にした時、血がザワザワと騒ぎ、私もこんな風に歌ってみたいと心惹かれた」という。

## ② 民族講師から韓国留学生へ

安藤民さんは、大学時代から機会があつて淡路中学校で民族講師の「お助け」としてチヤングやブシムルを教えた。大学卒業の頃、四・二四(昭和教員闘争)の時代に民族講師となつた人たちが退任を迎えるなかで、「民族学級の後任講師をもう一度入れる運動」があり、中・高の教職免許を持っていた彼女も「東大阪の太平寺小学校で働めることになった」。「これも転機かな」と思いました。八九年から太平寺小学校で七年間非常勤講師をしました。その後、「後任講師は、もともとは非常勤講師だった人の後任なので常勤化しよう」という運動があつて、常勤になったんです。

非常勤講師の時代、民屋協(民族教育促進協議会)の運動もあつて「文化活動と教育活動を同時並行、つまり二足の草鞋を履いて」とどちらにも全力投球できないジレンマを感じるようになっていた。そんななか、高正子さんから「安

藤民、部下手になつた女」の一言があつた。「もう限界が来てて、民族講師をこのまま続けて教育活動に専念するか、留学してちゃんと習うか……」。「パンソリが好きで、テープを聞いて、すごい。人間がどうやってこんな声出すんやろ……。というような感動を受けたけれども、これは韓国行かへん限り習えないし、難しいからとずっと諦めていたのを、その時に正子さんが「ちちゃんと習いに行つたら？」と背中を押してくれたという。「で、留学を決心して、九八年にとりあえず全部やめて、それまで貯めてたお金を持って留学したんです」。

とはいえ、韓国にアテがあるわけではなく、「今考えたらものすごい無鉄砲でしたけど、パンソリ習うなら本場、全羅道やろ。ってことで、まず受け入れてくれたのが、光州の劇団「トバギ(鳩の舌)」。代表の林鶴善先生であつた。この人は光州事件の際、連行を拠点に最後まで宣伝カーに乗って軍事政権の不当性を訴えつづけた人であつた。安さんは「キャリアバックにとりあえずの衣類を詰めて、どこに住むかも決めず、誰に習うかも決めず、林鶴善ソンセンム一人を頼って飛行機に乗った」。

その光州では、「今は男性の歌い手の五本指に入ってる、尹真哲先生に一年四月月師事した。男性の唱者であるが、「西恩順」でも描かれているようにパンソリは男性によって唱われていた。ところが今では「芸事なので、これだけで

食べていくのが難しく、男の人が少なく、女の人が多い。唱曲だと伴奏があるので、キーを合わせるがたいへん。楽器のキーに合わせて高くなる。やから、男性や女の人のキーに合わせてたら男の人は声の高い人しか残らなくて、また(男性唱者が)減つて」いつたという。

在日がパンソリを習うことに対する師匠の反応を安さんに聞いてみた。

やはり最初は「半分以上日本人」扱いで、「発音もよくないし、果たしてできんのか。っていう感じやったから、短く練習してくれてね。「こんだけやってこい」と言われたんですよ。短いからね、次の日ほとんど死体にして歌ったんですよ。そしたら、にやつと笑つてね。「계명(名)하네(なかなかやるな)」とか言うんですよ。それからすいぶんたくさん教えてくれるようになりました」。

一年四月月、この男性唱者に師事した後、やはり「もうちよつと習つたら？」という高正子さんのすすりめもあり、大学院で学ぶことになる。「家とは一年の約束」であつたが、「うちの親も、勉強する。には弱いから」と言うこともあり、漢陽大の植五善教授の下で韓国音楽を学んだ。肝心のパンソリの師匠はなかなか見つからなかつた。が、たまたま観に行つたタルチユムの公演で、出演者と食事をした際にあるパンソリの唱者に出会い、この人に半年師事した。

### 3 南海星先生との出会い

こうして女性の唱者(李淑賢さん)から半年ほど学んだ二〇〇一年夏、彼女の師匠の山工夫(サンゴンフ)・山でのレッスン(合宿)に誘われた。話しては聞いていたが、安さん自身はまだこの山工夫の経歴はなかった。「で、江崎バスターミナルで待ち合わせしたので、当日行つたんですよ。行つたら電話かかってきて、私、用事できて今日は行けない。って。ええーっ！ 私誰も知らへんのに、どうやって行くん？」と訊いたら、南原行き(南原)のバス乗り場の入り口にチャコゴリを着た、ちっこいばあちゃんが立ってるはずだから探して、って言うんですよ。で、行きました。ほんまにね、麻のすごく素敵な韓服を着た背のちっちゃいばあちゃんが立ってたんですよ。(あの人や！)と思つて。で、あの「すみません、日本から……」まで言うたら「あー、はいはい。スアキコンが言うてた日本から来た子やね。って……。この人が今のソンセンニム。南海星ソンセンニム。」

山工夫への一行はいったん南原で集合して、手配された車で智異山の麓の合宿所に行く。南先生は親切であつたが、「みんなわいわいしてるのに一人ボツンとしとつたらね、誰も私の名前も知らへんでしょ？」で、日本から来た子というんで……みんながね、「イルボソン(日本)！」って呼

ぶんですよ。そう呼ばれるとね、チリチリすんねん。(胸を指して)ここがチリチリする……日本では朝鮮人って言われてるのに……」

山工夫はこれが一回目。毎年七月末から先復節(八月五日)くらいまでのだいたい二週間で行われ、安さんはただ一人、これまでの一五年間一度も休まず通つている。

山中の勢いよく流れる川の畔が練習にはうってつけだという。「外で歌うので自分が思つてるよりも声を張らないと自分に聞こえてこないの、声出すのにいい練習になる。それと、川は天然のクーラーで、すごく涼しくて快適。水分もあるので喉にもいい」。下は小学六年生から、高校生や大学生、プロの唱者まで、昨年の例でいうと一五人ほどが共同生活をして、「朝の六時には起きて、七時に朝食、八時くらいにはもう一人の時間になれる。レッスンは、小さい子どもから順番に一人二〇分くらい」、「レッスン受ける時間以外は全部自分の時間なので、歌つてようと、寝てようと、遊んでようと、もう自分次第」。

「水宮歌」を李淑賢先生に学んだこともあり、大先生に「水宮歌」は習つたので他の歌が習いたい」と大胆に言い放つて、周りの雰囲気も凍り付いて、「習つたやつたら歌つてみい。つてすごい怖い顔で言われて、ガーン！ ひきつりながら歌つたら、……まあ、ええやろ、それじゃちよつと「沈清歌」習つてみよか？。と」。その後、「西曲歌」

も学び、今では「水宮歌」二時間半、「沈清歌」四時間半、「西曲歌」二時間の長編を唱いこなす。最近では、年に一度この山工夫に加わり、大阪では「自分がパンソリライブ」と銘打って、定期的に三カ月に一回公演をしてるなかで、この三つを順番にちよつとずつ分けて、歌舞伎や文楽で何かの段、何とかの幕とかやるみたいに、ちよつとずつ分けてやつてるんですよ。

南先生は今や八二歳、安さんは年末にもときおりこの大先生を訪れ、特別にレッスンを受ける。昨年も年末に三日間、訪ねている。「一日目は朝から一時間四〇分も教えてくれたんですよ。昼ごはん食べたら、午後暇じゃありませんか？。いつもは他にもレッスン受ける子がいるけど、この三日間は私しかいない。で、テレビ見てたら「성악!」(聖歌)、「聖民!」(聖民)、「太鼓持つといで。つて。出たーっ!」この「ブツカッコワ」がとんだけ怖いから!

### 4 これからの活動:「ユニット」かもめ組の試み

最後に在日のパンソリ唱者としての今後の取り組みについて尋ねた。

「パンソリは どうして残つてきているのかというと、やっぱりその中に人間が生きていくうえで大事にしてきたこととか、共感できることとか、そういう、人生、みたいなもの

が詰まっているので、だから残つていくんやろうな、つて。だからそれは、もちろんパンソリを表現する時の「声の力」も確かに大事やと思うし、やけど、こう……「사람이야가」——人、の話が詰まつてるので、そういうところに私は一番惹かれますね」。

その「人」とは普遍的でもあり韓国的でもある。悲喜も子どもを「エーモア」で笑い飛ばしてしまう力と「相解」の精神。最後はやっぱり「人は人として生きていく、一緒に生きなあかん、つていう」こと、「ライブとかやつてもね、字幕見てもらつてるので、観客の皆さんもお話の中に入つてるので、このパンボどう思う？。とか途中で日本語で言うたら、皆さんゲラゲラ笑つてね」。「共感したり、いや違う、と思つたり、つていうようなやり取りをしながら、お話の中を一緒に旅したりとか、継続したり」出来るのがパンソリの醍醐味。

古典としてのパンソリは、申在李が残した台本の六つ、それ以外に創作パンソリも唱われているという。安さんの今後の活動としては、パンソリの日本での普及とともに在日の立場から創作にもチャレンジしたいという。安さんは、作家の柳澤千さんとの縁で演劇師の玉川奈々福さんとユニットを組んで活動を始めている。美信子さんは、映画「ナミイと唄え」の制作で奈々福さんと出会い、〇八年四月の酒州島四・三事件の慰霊祭(大阪難波寺)で安さんの公演

をみて、新潟の水揚げ場でユニットを組もうと安さんに声をかけてきたという。安さんは「やります」と即答した。「新潟に行ってみたら、会場が水揚げ場だね。ちよつと前まで本当に使われてた魚の水揚げ場。海をバックにして歌うという、すごく素敵な場所で……、椅子代わりに丸太組んで、で、こつち側に舞台を作って、その向こうは海……、完全屋外です。ア・ナミみたいな屋根しかないところで歌ったんです」「その時の水揚げ場の名前が「かもめシアター」だったんで、私たちのユニット名「かもめ組」なんです」。

かもめ組は浅草の老舗演劇小屋の木炭亭、さらに松山、福岡などで公演を続けている。昨年は、東京の成蹊大でユニットによる朗読劇にチャレンジしている。姜信子さんがサムチユン（敏玄）のことを書いた『ケンカドリ』という作品。このサムチユンは済州島四・三事件で兄を銃間で亡くして母の手配で日本に逃れている。ユニットの形は「朗読劇みたいにしてあげようってことになってね。私も奈々福さんも、パンソリやりながら浪曲やりながら、ストーリーテラーもやるし、ウサギもやるし亀もやるし、妻もやるし夫もやるよ……っていうのが面白い。自分が、観てくれるお客さんもそうやし、でも、それをすつとストーリーテラーだけやるのは、朗読だけやるっていうのは、また覚えもせず白本見てやるっていうのは、も一つイヤやな、と思つてんけど、読めば読むほどね、伝えたい、と思いだして……

白本見るたびに泣いてましたけど……」やろうとなったものの、奈々福さんも四・三のことをこの時初めて知つた。「ほんまは、この人物は奈々福さんがする。つてなつててんけど、自分はそこへ、日本人としてどんな風に関わっていくのかということもなまに聞かれない。と……で、そこは姜信子さんがすることにして、奈々福さんは三味線で伴奏することに。信子さんが「ケンカドリ」に話を聞く人聞き手。私が「ケンカドリ」。若い時と、おじいちゃんになつた今を行ったり来たりしてやつていくつていう形になつた」。

だが、パンソリ風に旋律をつけるのは「できなくて……、全部日本語やし、途中ちよつと読みたいに書いてるところは韓国語に直したりしましたけど……だからこの『ケンカドリ』をもつと突き詰めようと思つて……やりながら、泣かすにはできないので、白本読んでる時点で、練習せなあかんに、泣いてるという……、本番も最後は会場全体涙の満でした。信子さんも私も化粧全部取れて、ま、そこからですかね……。自分の話、在日の話をどう作るのか……、できるなら、笑い飛ばしたいんです。泣くんじゃなくってね」。

(ア・ソ・ソ・ソ)